

PORTS OF OSAKA PREFECTURE



LNG(液化天然ガス) バンカリング船「SETO AZURE」

大阪府の みなと

2026.7 No.143

TOPICS

令和8年度 大阪港湾局(府営港湾)の事業概要	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 事業企画・防災/ 地域調整担当/計画調整部 振興課 利用促進担当	1~3
堺泉北港トライアル助成金のご案内	堺泉北港湾振興連絡協議会	4
第1回(港湾協会研修セミナー)「港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策入門」を開催	(一社)大阪府港湾協会	5
岸和田阪南2区干潟見学会に参加しました	(一社)大阪府港湾協会	6
第2回(港湾協会研修セミナー)「堺泉北港見学会～海と陸から～」参加者募集	(一社)大阪府港湾協会	7
令和7年度ビジネス英語セミナーを開催しました!	堺泉北港湾振興連絡協議会	7
LNGバンカリング船「SETO AZURE」堺泉北港初入港の記念楯を贈呈	(一社)大阪府港湾協会	8
大阪ガス泉北製造所を見学しました	(一社)大阪府港湾協会	9
堺泉北港「助松コンテナターミナル」が国土交通省のCNP認証を受けました	堺泉北埠頭株式会社	10
中古車輸出拠点機能充実強化事業「令和7年度ポートセールス」	大阪港湾局 計画整備部 振興課 利用促進担当	11・12
大阪湾沿岸海岸保全基本計画の変更について	大阪港湾局 計画整備部 計画課 計画調整担当	13
大阪海上保安監部 巡視船「なにわ」就役披露式及び船内見学を開催しました	大阪海上保安監部	14
(一社)大阪府清港会 ― 令和7年度の活動について ―	(一社)大阪府清港会	15

PORT NEWS

堺泉北港、阪南港の保安対策及び立入制限区域	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 危機管理担当	16
阪九フェリー船内見学会を実施しました	大阪港湾局 計画整備部 振興課 利用促進担当	17
地中に埋められていたマッコウクジラの掘り起こし	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉北管理担当	17
泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました!	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興/ 事業企画・防災課 地域調整担当	18
【アンケートのお願い】事業用地をお探しの事業者の皆さまへ	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課	18
密輸防止のため情報提供をお願いします!	大阪税関 堺税関支署	19
砂浜から広がる高石市の新たなにぎわいづくり	高石市	20
令和7年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)速報値	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興	21~24

会員様紹介コーナー

小さな巨人「タグボート」で大阪府営港湾を支え、還暦を迎えました!	大阪府タグ事業協同組合	25~27
ENEOS株式会社堺製油所はおかげさまで操業60周年を迎えました	ENEOS株式会社堺製油所	28~31
「和と誠実」の企業精神による125年の歩み	中谷運輸株式会社	32~35
日本栄船の環境への取組経緯、そしてこれから	日本栄船株式会社	36~38

INFORMATION

他港視察(福井県敦賀港・京都府舞鶴港)を実施します!	(一社)大阪府港湾協会	39
----------------------------	-------------	----

新規入会会員様

新規入会 株式会社 古川重機興業		39
------------------	--	----

会員情報

令和8年度 大阪港湾局(府営港湾)の事業概要

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 事業企画・防災/地域調整担当/計画調整部 振興課 利用促進担当

1. 港の国際競争力の強化

◆「(国直轄事業) 堺泉北港 汐見沖地区 夕風第2号岸壁 整備事業」 (令和8年度 大阪府当初予算3.24億円 ※大阪府負担額)

国際拠点港湾である堺泉北港では、阪神港の国際競争力強化への寄与等を目的とした埠頭再編を行い、内航 RORO やコンテナ機能、中古車輸出拠点機能の強化を図るため、汐見沖地区において令和元年度から新規岸壁(水深12m、延長300m)の整備を国直轄事業として進めています。令和8年度は、完成に向けて引続き岸壁本体工事を実施するとともに、航路及び泊地の浚渫を行います。



夕風第2号岸壁 工事状況

◆「港湾関連用地の埋立造成及び基盤整備」(令和8年度 大阪府当初予算5.3億円)

堺泉北港汐見沖地区(泉大津フェニックス)において、夕風第2号岸壁の整備に合わせて、背後地の下水道や道路のインフラ整備を実施します。また、阪南港阪南2区(ちきりアイランド)において、竣工測量など、今後の企業誘致に向けた測量調査業務を実施するほか、北側緑地護岸の設計・工事を実施します。



堺泉北港 汐見沖地区(泉大津フェニックス)

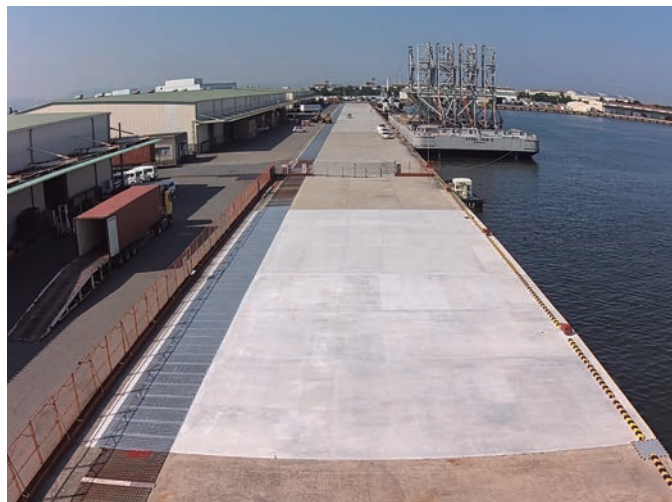


阪南港 阪南2区(ちきりアイランド)

2. 災害に強く、安全で使いやすい港の実現

◆「堺泉北港 汐見地区 汐見第3号岸壁 更新事業」 (令和8年度 大阪府当初予算4.14億円)

輸入合板を多く取り扱う堺泉北港汐見地区の汐見第3号岸壁について、荷役の安全性確保（安全・安心の確保）のため、老朽化した岸壁の更新を進めています。令和8年度は、引続き残りの区間の工事を実施します。



汐見第3号岸壁 工事状況

3. 府市港湾一体となった集貨の促進

◆「集貨機能強化対策事業」 (令和8年度当初予算1,000万円)

大阪港湾局では、「カーボンニュートラル」や「モーダルシフト」など、社会環境の変化により生じた物流の課題に府市が連携して対応し、大阪“みなと”（府営港湾及び大阪港）の取扱貨物量の拡大を図るため、引き続き、以下3つの事業を実施します。詳細については、大阪港湾局振興課利用促進担当までお問い合わせください。

(1) RORO・フェリー航路充実強化事業

船舶の大型化等による貨物増を実現した RORO・フェリー船社を対象に、貨物量の増加に応じた支援として補助を行います。

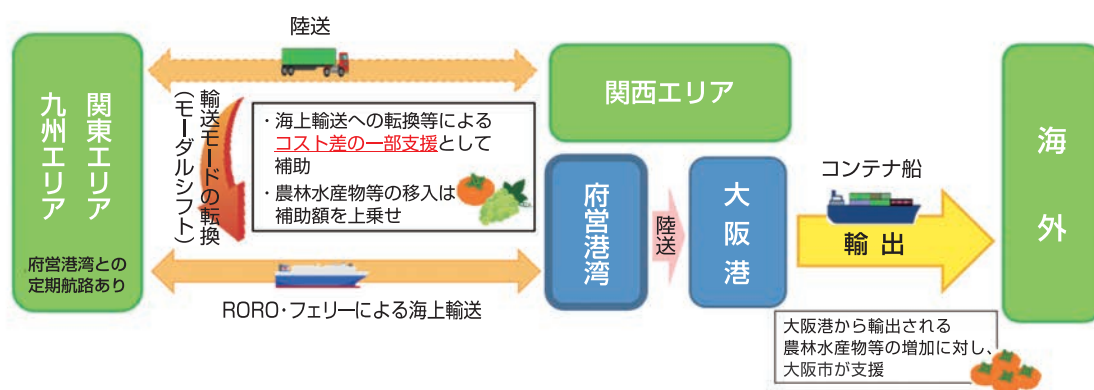
(2) 内貿貨物集貨促進事業

荷主やフォワーダーを対象に、陸上輸送から府営港湾を就航する RORO・フェリーによる海上輸送に貨物を転換等した際のコスト差額の一部を補助します。また、大阪港等を通じた輸出拡大の取組（産直港湾）を進めるため、国内他港（大阪港・神戸港を除く）から府営港湾に集貨される農林水産物等（農林水産物及び食品）については、補助額を上乗せします。

(3) 外貿貨物集貨促進事業

国内他港（大阪港・神戸港を除く）を利用して輸出入を行っていた貨物を府営港湾に転換等する荷主やフォワーダーに対し、転換貨物等の量に応じた支援として補助を行います。また、大阪港等を通じた輸出拡大の取組（産直港湾）を進めるため、府営港湾から輸出される農林水産物等については、補助額を上乗せします。

《モーダルシフトに対するインセンティブ制度のイメージ》



4. 府市一体となった旅客船の利用促進

◆「旅客船利用促進事業」（令和8年度当初予算580万円）

府営港湾と大阪港を発着する旅客船（フェリー）会社と両港の港湾管理者である大阪港湾局が一体となって、旅客船の利用促進に向けた取組を実施し、両港の活性化を図ります。

具体的には、HP やポスターでの PR 等、府民が旅客船に触れる機会を創出し【見る】、フェリー事業者や業界関係者による講演やパネルディスカッション等を通じて、各フェリーの航路や船内での過ごし方、船旅の魅力を感じてもらえるセミナーや船内見学会を開催します【知る】。また、両港に就航するフェリーをチャーターし、船内視察や船内施設の利用、海上から眺める湾周辺の街並みなどフェリーならではの魅力を堪能できる湾内クルーズによる乗船体験を通じ、旅客船の安全性・利便性・快適性を感じてもらう【体験する】ことをめざします。



令和7年7月に実施 大阪湾クルーズの様子



令和8年3月に実施 フェリー船内見学会の様子

堺泉北港トライアル助成金のご案内

堺泉北港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会では、堺泉北港の利用促進を目的に、2つの助成事業を実施しています。皆さまにより活用いただきやすいよう、**制度を拡充**しました。ぜひ、この機会にご活用ください。



令和8年度からの制度拡充事項	
●国際コンテナ貨物集荷促進助成事業	助成対象期間を最大2年に拡大
●内航 RORO・フェリー貨物輸送トライアル助成事業	建設機械・農耕機等（特殊自動車※）も助成対象に追加

※道路運送車両法第3条、同法施行規則第2条及び別表第一により
特殊自動車として規定される車両（堺泉北港から移出される中古車両は除く）

●国際コンテナ貨物集荷促進助成

堺泉北港に寄港する外航定期コンテナ航路を利用し、新たにコンテナの輸出入を開始する事業者様を対象として助成します。

これまで1年間のみであった助成対象期間を、最大2年間に延長しました。

- <助成対象事業> ①阪神港内航フィーダー助成（1コンテナあたり8,000円／上限500,000円）
②堺泉北港新規利用コンテナ助成（1コンテナあたり5,000円／上限500,000円）

<助成対象事業者> 荷主企業又は他社から依頼を受けてコンテナ貨物を輸送する事業者

<助成対象期間> 事業開始日から最大2年間を対象とします。

●堺泉北港内航RORO・フェリー貨物輸送トライアル助成

トラックと船舶を併せた海陸一貫輸送のご利用経験のない荷主企業様等を対象に、堺泉北港の内航RORO定期航路又はフェリー定期航路を利用した貨物の海陸一貫輸送のうち、海上輸送に係る経費の一部を助成します。従来のトレーラー・貨物車両に積載された貨物に加え、建設機械、農耕機等（特殊自動車）の輸送も対象になりました。

<助成対象事業> 新たに堺泉北港から内航RORO・フェリー定期航路を利用し、輸送を開始する荷主企業又は輸送請負業者等。

※過去1年間でご利用がない場合やこれまでとは異なる貨物や輸送区間でのご利用でも対象となる場合がございます。

<助成対象期間> 事業開始日から令和9年3月31日まで



対象航路・助成条件等詳細については、右のQRコードから交付要綱をご覧ください。

また、申請方法や不明点などは下記お問い合わせ先までご連絡ください。

堺泉北港港湾振興連絡協議会連携団体
「(一社)大阪港湾協会」ホームページ

【お問い合わせ先】

堺泉北港港湾振興連絡協議会事務局(大阪港湾局泉州港湾・海岸部総務振興課内)

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル10階

電話 0725-21-7203

第1回〈港湾協会研修セミナー〉

「港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策入門」を開催

(一社)大阪府港湾協会

令和8年5月14日(木)に、第1回一般社団法人大阪府港湾協会研修セミナーを開催しました。

本セミナーでは、講師として(株)関西みらい銀行から岡本直樹氏と内賀嶋雄大氏をお迎えし「港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策入門」をテーマに2部構成でご講演いただきました。第1部は、岡本氏から「外国為替業務の基礎」について、第2部では、内賀嶋氏から「銀行のAML/CFT業務」について解説していただきました。

「モノ」の流れとは異なる、お「カネ」の流れの側面から貿易金融の基礎を解説いただき、近年重要性が高まっているAML/CFTについての基本的な考え方を学ぶことができました。参加者様の今後の業務に活かすためのヒントを得ることができたのではと感じています。

■会 場 堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階「きららホール」

■参 加 者 約80名

■講演内容 ○第1部「外国為替業務の基礎」

(株)関西みらい銀行 国際業務室 室長 岡本 直樹 氏

事業紹介を交えて、銀行が企業の海外展開を支援する重要性や、外国為替業務の基礎としての外国為替取引・為替相場・海外送金・貿易取引についてそれぞれの解説とともに、特にコレス契約に基づく海外送金の仕組みや、貿易取引における船荷証券や信用状取引決済について説明していただきました。



岡本 直樹 氏

○第2部「銀行のAML/CFT業務」

(株)関西みらい銀行 国際業務室 マネージャー 内賀嶋 雄大 氏

銀行業務におけるAML（アンチ・マネー・ロンダリング）・CFT（テロ資金供与対策）の重要性について、AML/CFTの基本的な定義、OFAC規制などの国際的な枠組み、国内の外為法、違反時の罰則など、具体的な事例を交えて解説していただきました。



内賀嶋 雄大 氏



岸和田阪南2区干潟見学会に参加しました

(一社)大阪府港湾協会

令和8年5月17日(日)(一社)大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア(CIFER・コア)、共和海建(株)、きしわだ自然資料館共催の岸和田阪南2区干潟見学会に参加しました。



CIFER・コア 横山理事(当協会 顧問)

岸和田阪南2区干潟は、埋め立て地につくられた人工干潟です。干潮時に生息する様々な生き物を観察します。

干潟では、きしわだ自然資料館の学芸員の指導のもと、干潟の生態系を直接体験しながら、マテガイ採集など、干潟特有の生態を学びました。生き物たちの生息環境やその役割を知り、環境保全の大切さについて学ぶ機会になりました。



船(INFINITY)から干潟に上陸する様子



干潟の様子



ヒメハゼやスナガニなどの生き物採集の様子



マテガイ採集の様子



昼食の様子



見学会の前には、岸和田みなとマルシェで昼食を行い、協会会員との交流を深めました。昼食は、海鮮丼、泉州名物のかしみん焼き、牡蠣のクリームコロッケなどをいただきました。

今回参加を見合わせられた方も、次回開催の際には是非ご参加ください。

第2回〈港湾協会研修セミナー〉

「堺泉北港見学会～海と陸から～」参加者募集

(一社)大阪府港湾協会

大阪府港湾協会は、大阪港湾局と堺泉北埠頭株式会社とともに、堺泉北港に関する概要説明と見学会を併せて実施する研修セミナーを開催します。

堺泉北港の見学会は、大阪府の旅客船兼監視船「はまでら」による海から見る日と、大型バスによる陸から見る日の2日開催しますので、どちらかご希望の日を選んでお申し込みください。

海からの日は、見る機会の少ない夕風第2号岸壁の工事現場やLNG・原油栈橋を含め、海からならではの堺泉北港の姿をご覧ください。また、陸からの日は、自動車オークションのIAA大阪で特別にオークション開催中の会場を見学します。さらに、普段、立ち入ることができない助松コンテナターミナルやフェニックスの多目的広場なども見学いただきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

開催要領

- | | |
|-------|---|
| ○開催日時 | ●海からの日 令和8年9月3日(木) 午後1時～午後4時30分 |
| | ●陸からの日 令和8年9月9日(水) 午後1時～午後4時30分 |
| ○場 所 | 堺泉北港ポートサービスセンタービル(大阪府泉大津市なぎさ町6-1) |
| | 1時～ ●説明会 同ビル2階 会議室 |
| | 2時～ ●見学会 海からの日 同ビル近くの栈橋から「はまでら」で出発し、見学の後、
栈橋に戻ります。 |
| | 陸からの日 同ビル前からバスで出発し、見学の後、同ビルに戻ります。 |
| ○参加費 | 無 料 |
| ○定 員 | 海からの日 30人、陸からの日 40人 |
| ○申込方法 | 会員の皆様にメールでご案内します。 |

【お問合せ先】(一社)大阪府港湾協会事務局
電話 /0725-20-0690 メール /kyoukai@fship.or.jp

令和7年度ビジネス英語セミナーを開催しました！

堺泉北港港湾振興連絡協議会

2月13日(金)、18日(水)、25日(水)および3月3日(水)の計4日間にわたり、港湾関連企業を対象としたビジネス英語セミナー(基礎編・応用編)を開催しました。

講師として、株式会社インターグループよりMichael Gray先生と菊池葉子先生をお迎えしました。

基礎編では、ビジネスの場面で必要となる適切な丁寧表現を用いたビジネスEメールのライティング方法、ミーティングや交渉に役立つ基本的なコミュニケーションスキルを学びました。

応用編では、英語での挨拶や日程調整など、実務で頻繁に使われるビジネス英会話に加え、英語によるプレゼンテーションの進め方について、実践的に習得していただきました。

参加者からは、「仕事ですぐに活用できるフレーズ・表現を学ぶことができて良かった」、「参加者同士でのロールプレイングがあり、楽しく受講できた」といった声が寄せられ、内容・雰囲気ともに大変好評でした。

4日間を通じて、セミナー参加者同士の交流も生まれ、和やかな雰囲気の中で学べるセミナーとなりました。ビジネス英語セミナーは、今年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



講師によるプレゼンテーションの様子

LNGバンカリング船「SETO AZURE」堺泉北港初入港の記念楯を贈呈

(一社)大阪府港湾協会

令和8年4月28日(火)、Daigasグループなどが出資するLNG(液化天然ガス)バンカリング船「SETO AZURE」が令和8年4月17日(金)、広島県福山でのLNGバンカリングに向けてLNGを大阪ガス泉北製造所で積み込むため、堺泉北港に初入港したことを記念して、当協会の竹内会長から大阪ガス泉北製造所の木附所長に代理で記念楯を贈呈させていただきました。

堺泉北港においては、LNGを燃料とするPCC(自動車専用船)の寄港が増加しています。同船の就航により、



記念楯贈呈の様子



川平 光春 船長

府営港湾におけるLNGバンカリング環境が飛躍的に向上しました。今後、増加が見込まれるLNG燃料船へのバンカリング需要に積極的に対応し、CNP(カーボンニュートラルポート:港湾脱炭素化)の推進に貢献いただくことが期待されています。

「SETO AZURE」(セト アズール)について

海運における脱炭素に向けて、重油に比べて二酸化炭素排出量を大きく減らすことができるLNG燃料船が注目されており、世界における運航隻数も大きく増加しています。増加するLNG燃料船に安定的にLNGを供給する専用船がLNGバンカリング船であり、SETO AZUREは、大阪湾・瀬戸内を広くカバーして運航されます。

【概要】

- 全 長：86.29m
- 全 幅：17.60m
- 総トン数：約4,350トン
- LNGタンク容量：約3,610m³
- 船 主：大阪湾LNG SHIPPING株式会社

※ LNGバンカリング：LNGを燃料とする船舶に対してLNG燃料を供給すること

※ 大阪湾LNG SHIPPING株式会社の出資者：
大阪ガスインターナショナルトランスポート(株)
(大阪ガス100%子会社)、NS ユナイテッドタンカー(株)、
阪神国際港湾(株)

※ 世界におけるLNG燃料船隻数：2020年185隻
→ 2025年 869隻
→ 2030年 1,271隻(ノルウェー海事協会)



大阪ガス泉北製造所を見学しました

(一社)大阪府港湾協会

令和8年4月28日(火)、当協会の呼びかけで大阪港湾局、堺泉北埠頭株式会社とともに大阪ガス泉北製造所のご協力を得て、都市ガス製造の重要拠点である大阪ガス泉北製造所を見学させていただきました。

スタッフの皆様にご丁重にお迎えいただき、同製造所の概要について説明いただきました。京阪神を中心に大阪ガスグループで500万戸以上の家庭に都市ガスを届けており、その多くを泉北製造所で製造していること。また、製造の過程で得られる冷熱を利用した発電による環境負荷の更なる低減や液化酸素やドライアイスの製造・販売など有効にLNGが利用されていることを興味深く学ぶことができました。



説明会の様子

その後、製造所構内を大型バス(天然ガス自動車)で見学させていただき、LNGタンクや万が一の際の防護設備などを間近で見学しました。特に大阪ガスが開発した23万 kl という大容量のPCLNGタンクの巨大な姿には圧倒されました。

また、LNGバンカリング船「SETO AZURE」にLNGを積み込むために改装された内航栈橋を特別に見学させていただきました。パイプラインやローディングアームを新たに設置されたとのことで、LNGバンカリングに取り組まれる大阪ガスの強い意気込みを伺うことができました。最後にご好意により、昨年の大阪・関西万博のレガシー展示を見学させていただきました。

普段、見る機会のない都市ガス製造の現場に触れ、また、海運の脱炭素に向けて重要な役割を担う施設を見学させていただき、港湾の脱炭素化や港湾物流に関係する者にとって、大変有意義な時間となりました。



ガス科学館展示風景(万博レガシー展示)



堺泉北港「助松コンテナターミナル」が国土交通省のCNP認証を受けました

堺泉北埠頭株式会社

令和8年3月、堺泉北港助松コンテナターミナルが、国土交通省の「CNP 認証 (コンテナターミナル)」制度における「レベル 1+」の認証を取得しました。

本制度は、港湾における脱炭素化 (カーボンニュートラルポート：CNP) の取り組みを段階的に評価するもので、令和7年度は全国で9港(10ターミナル)が認証を受けました。同ターミナルは、当社が堺泉北港の港湾運営会社として運営している埠頭の一つです。

3月16日(月)に国土交通省近畿地方整備局において認証式が開催され、同局の石原副局長から当社の下村社長に認証書が授与されました。当日は、大阪港湾局の坂田理事が同席し、関係者がカーボンニュートラルポート形成の推進に向けて意見を交換しました。

今後、大阪港湾局やターミナルの運営にご協力をいただいている山九株式会社、株式会社日新並びに日東物流株式会社のみなさまとともに、さらなるカーボンニュートラルの取り組みをすすめてまいります。

【制度の概要】

- 国土交通省では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図る CNP の形成を推進している。
- CNP の形成を推進する取り組みの一つとして、令和7年6月にコンテナターミナルにおける脱炭素化に向けた取り組みの実施状況をレベル 1～5 までの多段階で評価する認証制度として運用を開始した。
- CNP 認証の更なる普及により、ポートセールスでの活用とともに、CNP 形成に向けたターミナル間での競争と、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることが期待されている。

【助松コンテナターミナルの取組】

- インバーター制御方式によるガントリークレーンの配備
- ヤード照明の LED 化 (令和8年度から)
- 港湾脱炭素化推進計画 (「大阪港・堺泉北港・阪南港 港湾脱炭素化推進計画」) の作成
- 環境に配慮したタグボートの導入 (株式会社商船三井が所有し、日本栄船株式会社が運航する LNG 燃料タグボート「いしん」が配備)



中古車輸出拠点機能充実強化事業「令和7年度ポートセールス」

大阪港湾局 計画整備部 振興課 利用促進担当

大阪港湾局では、堺泉北港(公共埠頭)から輸出される主要貨物のひとつである中古車について、既存仕向地における更なる取扱量の増加や新たな仕向地の開拓などを目的として、中古車関連の事業者や同港の港湾運営会社である堺泉北埠頭株式会社などと共に、海外ポートセールスを行っています。

令和7年度は、我が国から多くの中古車が輸出されているものの堺泉北港からの輸出が減少傾向に転じたチリへの現地調査とともに、堺泉北港で長く中古車の取扱い実績のあるオーストラリアではプロモーション活動を行いました。

① チリ共和国で現地調査を実施しました

これまで、堺泉北港からチリに向けては、PCC(Pure Car Carrier/自動車専用船)により安定的に輸出してきましたが、コンテナ運賃の下落等により、2021年をピークに、輸送モードがPCCからコンテナに変化し、2024年以降、同港から同国向けの輸出はゼロになりました。

一方、コンテナ輸送は社会情勢の影響を受けやすく、また、この数年で相当数のPCCが建造されるため、今後、PCC輸送のコンテナ輸送に対する価格競争力が生まれ、輸送モードがPCC輸送に回帰する可能性があります。

将来の堺泉北港からチリ向け輸出再開に備え、チリ現地の状況把握、現地関係者との関係構築等を図る目的で、令和8年1月10日(土)から同月18日(日)までの間、チリにて現地視察及びポートセールスを行いました。

現地では、1983年に大阪港と姉妹港提携を行ったバルパライソ港にて、同港を管理するバルパライソ港湾公社へ表敬訪問を行いました。表敬にあつては、港湾局長の親書を手交し両港の交流に謝辞を述べるとともに、港湾公社幹部から返礼の挨拶をいただきました。

また、中古車の輸入を原則禁止としているチリにおいて、自由貿易港として輸入を認めているイキケ港にて、中古車の商流把握、自由貿易地区の管理状況の確認や同港の港勢を現地事業者から聞き取るとともに、現地中古車事業者との意見交換会を実施しました。

現地調査の結果、チリでは主にコンテナ船による輸入が行われているものの、PCCによる輸入についても港での受入れ態勢が整備されていることが確認できました。この度の現地調査で得た情報を参考に、今後の輸出再開に備え、引き続き、現地関係者や輸入事業者等と連携していきたいと考えています。



イキケ自由貿易地区内中古車輸出組合との意見交換会



バルパライソ港湾公社 フランコ GM に対する謝辞手交



イキケ郊外アルト・オスピオ企業団地内ストックヤード

② オーストラリアプロモーションを実施しました

オーストラリアは、ニュージーランドの約5倍の人口規模であり、更なる中古車輸出拡大のポテンシャルがあると思われます。また、同国では2017年に国内自動車生産が終了しており、同国内で使用される自動車は、国内における再利用及び輸入によって支えられています。一方、オーストラリアでは、同国独自の車両基準、安全基準、環境基準に加え、他国より厳しい検疫体制などが求められています。そのため、今後の同国向けの更なる輸出拡大に向けて、現地政府関係者との意見交換や、具体的な課題の把握、現地キーマンからの情報収集が必要なことから、令和8年2月8日(日)から同月15日(日)までの間、オーストラリア(メルボルン・キャンベラ・シドニー)にてプロモーションを実施しました。

現地では、厳しい検疫体制の実情把握や同体制に係る意見交換を目的に、メルボルン港運会社、検疫所管省庁等を訪問しました。また、中古車を輸入する際の安全・環境基準について、インフラ・交通・地方開発・通信・芸術省を訪問し、堺泉北港の関係事業者の声を届けるとともに、引き続き中古車関連施設が整備される堺泉北

港の中古車輸出機能のPR等を行いました。さらに、オーストラリアに中古車が輸入される際の車両適合作業の見学や現地関係事業者によるニーズを聞くため、現地コンプライアンス事業者を訪問、視察しました。

今回のプロモーションでは、現地の政府関係者との意見交換や、車両の基準に適合させるための関係事業者への視察などにより、具体的な課題の把握や現地キーマンとの繋がりを構築できたことから、今後も定期的に情報収集し、中古車の更なる輸出拡大に向けて取り組んでいきます。



メルボルン港 Webb Dock West Terminal における豪州インフラ交通省等関係機関への訪問



メルボルン港におけるストックヤード

令和8(2026)年度の海外プロモーションについては、最新の情報を分析したうえで効果的なポートセールス先を選定し、下半期を目途に実施する予定としており、引き続き堺泉北港からの中古車輸出拡大に向けた取組を進めてまいります。

大阪湾沿岸海岸保全基本計画の変更について

大阪港湾局 計画整備部 計画課 計画調整担当

大阪府では兵庫県と共同で、大阪湾沿岸(明石市東境界から和歌山県界まで)において、「防護」・「環境」・「利用」の調和のとれた海岸管理が適正に行われるよう「大阪湾沿岸海岸保全基本計画(以下、「基本計画」という)」（平成14年8月）を策定し、海岸保全施設の整備を進めてきました。

このたび、平成30年台風第21号による高潮被害を契機に国がとりまとめた、「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方」提言(令和2年7月)を踏まえ、海岸保全を過去のデータに基づきつつ気候変動による影響を明示的に考慮した対策へ転換するために、令和2年11月に「海岸保全基本方針」を変更、令和3年7月に「海岸保全施設の技術上の基準を定める省令」が一部改正・施行されました。本府においてもこれらに基づき、気候変動の影響を踏まえ基本計画を変更(令和8年3月)しました。

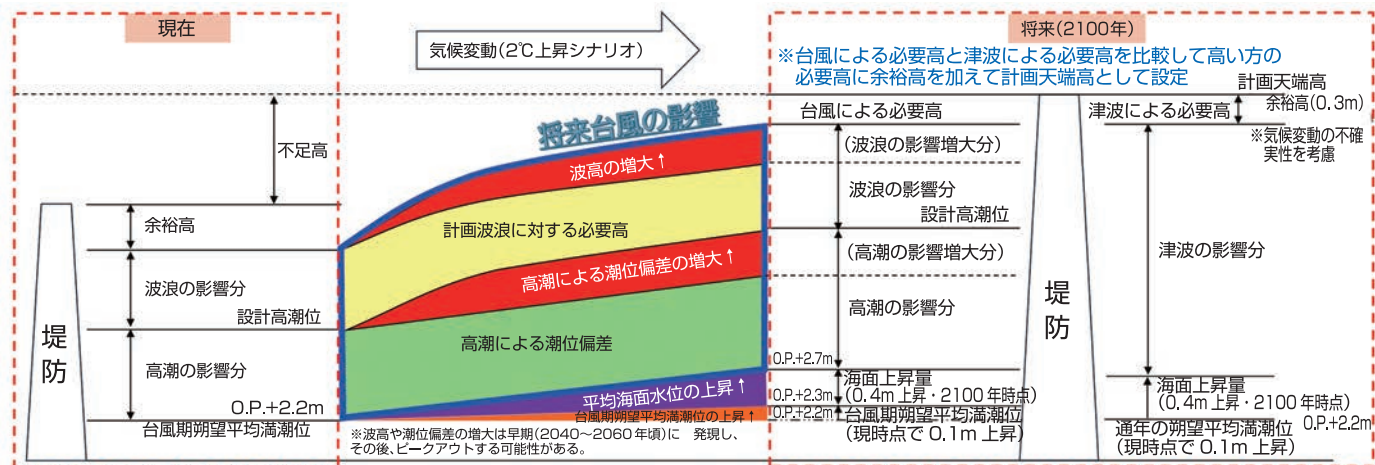
基本計画の変更にあたっては、大阪府大阪湾沿岸海岸保全基本計画審議会を開催し、計画諸元や防護水準の議論を行い、パブリックコメントを経て取りまとめを行いました。

主な変更内容は、気候変動の影響により2100年時点で気温が2℃上昇、平均海面水位が40cm上昇するシナリオを設定し、台風の諸元を「伊勢湾台風規模の台風が室戸台風コースを通過する想定」から「伊勢湾台風規模の台風が平成30年第21号台風コースを通過する想定」としています。

検討の結果、2100年時点における海岸保全施設(堤防等)の高さは、大阪府域の海岸保全区域全64地区のうち58地区で、平均80cmの必要高不足となりました。

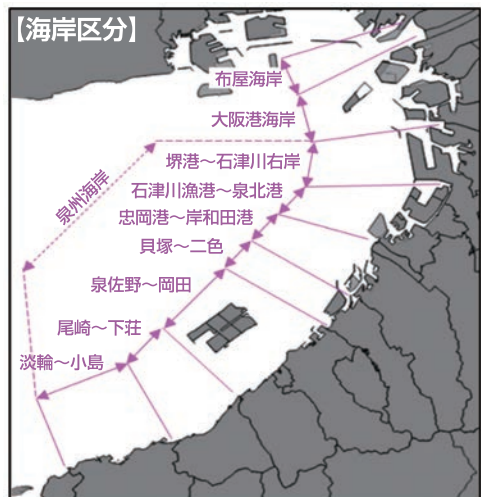
対策にあたっては、長い年数と多額の事業費を要することから、今後は関係市町の意見も踏まえ、国や他府県の動向にも注視しながら、段階的な整備も含め効率的な推進が図れるよう検討を進めていきます。

■ 防護水準等の概要



■ 計画天端高

海岸区分	延長	計画天端高(O.P.+m)				現況天端高 (O.P.+m)	天端高不足 (m)	
		港外	人工海浜	港内	埋立地			
布屋海岸（府河川）	L≒ 0.9 km	7.8				9.0	－	
大阪港海岸（大阪市）	L≒ 43.2 km	7.3～8.2				6.2～7.25	0.3～1.1	
泉州海岸 （府営港湾）	堺港～石津川右岸	L≒ 7.5 km	－	－	7.0～7.2	6.9	5.5～6.0	1.2～1.5
	石津漁港～泉北港	L≒ 11.5 km	7.6	－	6.4～6.6	6.2	5.2～6.45	0.0～1.6
	忠岡港～岸和田港	L≒ 18.6 km	6.1～9.7	－	5.9～6.1	5.8	5.0～8.0	0.0～2.1
	貝塚～二色	L≒ 5.8 km	6.7	6.5	5.7～5.8	5.5	5.0～6.5	0.0～0.5
	泉佐野～岡田	L≒ 10.3 km	6.9～8.8	7.4～8.1	5.5～5.9	5.4	4.5～7.15	0.0～2.6
	尾崎～下荘	L≒ 9.2 km	6.2～7.4	－	5.0	－	4.5～6.0	0.0～1.4
淡輪～小島	L≒ 10.3 km	6.0～7.7	6.8	5.1～5.2	－	4.5～6.0	0.0～2.4	
府営港湾延長	L≒ 73.2 km	天端不足地区海岸数：58/64地区海岸					平均約 0.8m	
全体延長	L≒ 117.3 km							



大阪海上保安監部 巡視船「なにわ」就役披露式及び船内見学を開催しました

大阪海上保安監部



令和 8 年 2 月 5 日(木)、大阪市港区の天保山旅客ターミナルにおきまして、巡視船「なにわ」(PL 6 2) の就役披露式を執り行いました。当日は、ご来賓をはじめ、国・自治体関係者並びに海事関係者の皆様など約 2 5 0 名のご臨席を賜り、盛会のうちに挙行できましたこと、主催者として心より御礼申し上げます。

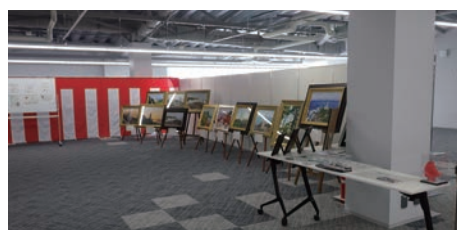
本式典では、冒頭、大阪海上保安監部長から式辞を申し上げ、大阪港が我が国有数の国際貿易港として重要な役割を担っていることを踏まえ、テロ対策、海上犯罪の取締り、海難救助、航行の安全確保といった多岐にわたる任務に引き続き万全を期し、地域の安全・安心の確保に全力で取り組む決意を申し述べました。



続いて、第五管区海上保安本部長からご挨拶を申し上げ、第五管区が所管する広大な海域の安全確保の重要性について改めて言及するとともに、大阪海上保安監部に初めて配備された大型巡視船「なにわ」が、今後の業務執行体制の強化に大きく寄与するものである旨を述べられました。

来賓祝辞では、近畿運輸局長様、大阪港湾局長様及び海上保安協会大阪支部長様からお祝いのお言葉を頂戴致しました。

最後に、巡視船「なにわ」船長から、大阪港をはじめ周辺海域の安心安全のために全力を尽くします、との決意表明にて式典が締めくくりました。



式典中には、巡視船「なにわ」のこれまでの配属履歴や各地における任務を紹介する映像を上映し、ご出席の皆様と同船の歩みと役割について理解を深めていただく機会といたしました。また、式典会場では、灯台画家「徳野 秀」氏の作品 1 2 点及び巡視船艇や灯台のパーパークラフトの展示を行いました。



式典終了後には、巡視船「なにわ」の船内見学を実施いたしました。ご来賓の皆様には、操舵室や甲板設備、生活区画等をご覧いただき、巡視船「なにわ」乗組員からの説明により装備や機能について理解を深めていただき、巡視船「なにわ」の現状と魅力を直接肌で感じていただきました。

同船は、総トン数 1 3 0 0 トンを有し、ウォータージェット推進による優れた機動性能を備えるとともに、機関砲や赤外線監視装置などの装備を搭載しており、平時の海上警備のみならず、大規模災害発生時における人命救助や物資輸送等にも対応可能な能力を有しております。

見学に際しては、多くの皆様より高い関心をお寄せいただき、「大阪湾の安全確保に大きく寄与するものと期待している」などのご意見を頂戴するなど、皆様のご期待に応え続けるよう尽力致します。

海上保安庁公式 YouTube「Blue Stories」をこの機会に是非ご覧ください。

右側のQRコードからアクセスできます。



(一社)大阪府清港会 ― 令和7年度の活動について ―

(一社)大阪府清港会

1. はじめに

一般社団法人大阪府清港会は、美しく安全な港の実現をめざして、堺泉北港において海面清掃を行っている団体です。大阪府からの業務の受託に加え、堺・高石・泉大津の3市、及び151の会員企業・団体の支援のもと、活動を推進しています。

2. 海面清掃活動

清掃船「しらさぎ」により、年間を通して港内の海面清掃を実施しました。

【令和7年度実績 出動回数：979回 回収量 382m³ (ごみや流木等)】

令和7年度は記録的な少雨の影響で、河川からの流入が抑えられ、回収量は前年度比で13%に留まりました。



清掃船しらさぎ



流木などの大型ごみ



陸揚げしたごみ

3. 啓発・広報活動

ごみの削減には、発生源となる河川流域の住民の皆様のご協力が不可欠です。令和7年度は、以下の活動を通じて、広く協力を呼びかけました。

- イベント参加 (計6回)：港湾・河川の清掃やイベントにおいて、パネル展示や啓発グッズの配布、「しらさぎ」のデモンストレーションを実施。
- 教育・シンポジウム：プラスチックごみ・サーキュラーエコノミーに関するシンポジウムへの参加や、中学・高校生向けの「出前授業」



堺港まつり 展示



デモンストレーション



狭山池クリーンアクション



水都国際中高生 出前授業

4. その他の活動

大阪府が設置したオイルフェンスの点検整備や、近畿地方整備局・堺市合同防災訓練に参加しました。

5. 課題と今後の取り組み

- 資源循環の推進：現在は焼却等処分されているプラスチックごみや流木について、再資源化によるCO₂削減への寄与をめざし、技術・手法の情報収集に努めます。
- 連携の強化：事務局単独での啓発活動には限界があるため、行政や会員企業・団体の皆様との連携を深め、より積極的な情報発信に取り組みます。

6. おわりに

今後も積極的に取り組んでまいります。皆様におかれては一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

堺泉北港、阪南港の保安対策及び立入制限区域

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 危機管理担当

堺泉北港及び阪南港では、「海上における人命の安全のための国際条約」(通称SOLAS条約)及びこの国内法である「国際航海船舶及び国際港湾施設の保全の確保等に関する法律」に基づき、テロ対策の一環として、海上保安庁や大阪府警などの関係機関と連携した保安対策を実施しています。

○立入制限区域

上記の条約や法律により、年間に一定数以上の国際航海船舶が利用する岸壁に対し、立入制限区域を設け、保安対策を実施することが義務付けられています。大阪港湾局では、堺泉北港と阪南港に15の立入制限区域を設け、この区域ではテロ対策として厳重な警備を実施しています。

◆立入制限区域へ入構される方へ

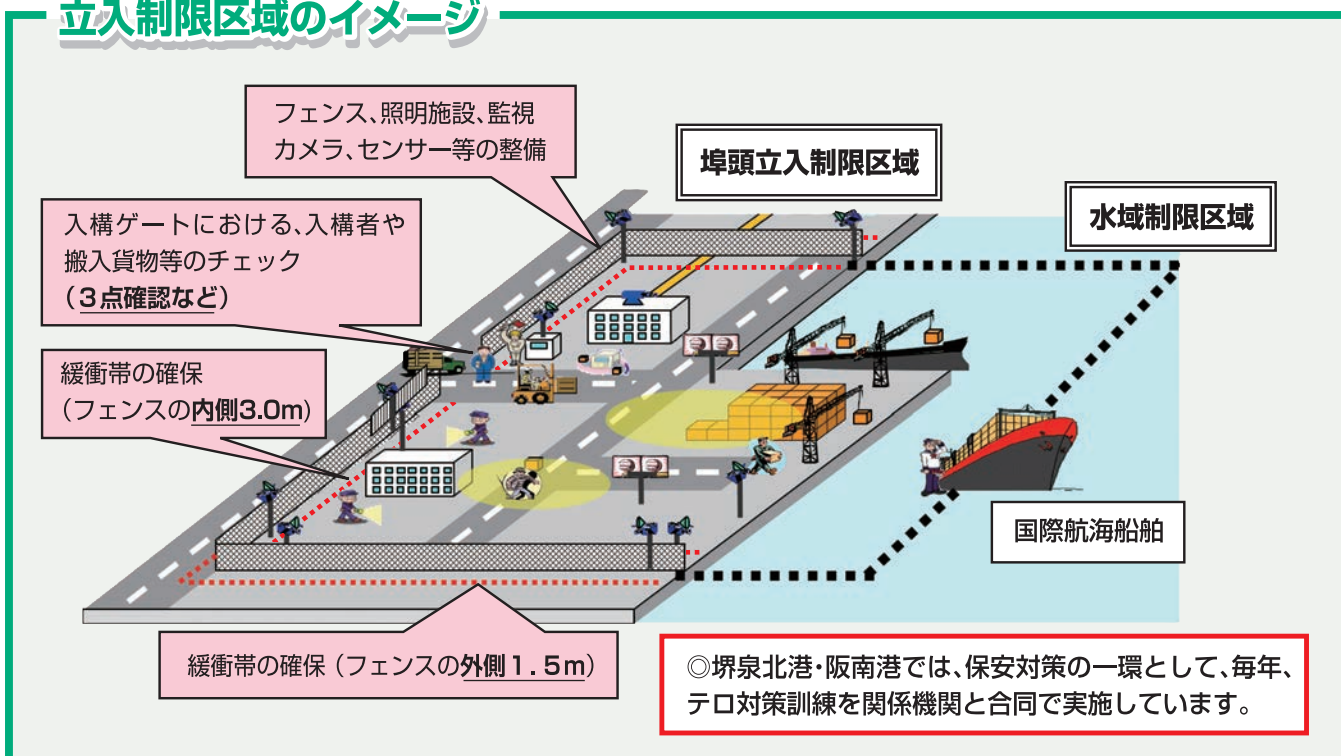
立入制限区域の入口では『出入管理』を行っており、入構される方に対して『本人確認・所属確認・目的確認』の3点を確認させていただきます。この際、必ず一時停止をお願いします。また、搬入貨物に対して一定の割合で外観やヒアリング等による詳細点検を実施させていただきます。テロ対策のため、入構時に必要な手順となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【PSカード】入構時の3点確認に代え、『大阪府営港湾PSカード』を提示いただくことで、スムーズに入構いただくことができます。立入制限区域に入構される方は是非ご作成ください。詳しくは、大阪港湾局ホームページもしくは、大阪港湾局危機管理担当までお問合せください。TEL: 0725-21-7246

◆立入制限区域内及びその周辺にて荷役をされる方へ

立入制限区域の外周部には、保安対策用の設備を設置しています。このうちフェンスについては、不審者の侵入を防ぐ観点から、フェンスの内側約3.0m以上、外側約1.5m以上を監視用の緩衝帯として確保しなければならないと厳格に規定されており、この緩衝帯には、車両や貨物など一切のものを置くことができません。施設使用者の皆様におかれましては、ご協力をよろしくお願いいたします。

立入制限区域のイメージ



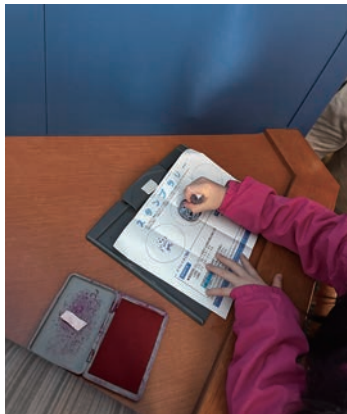
阪九フェリー船内見学会を実施しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課 利用促進担当

大阪港湾局では、令和8年3月21日(土)に、堺泉北港に就航する阪九フェリー様にご協力いただき、同社の船舶「ひびき」の船内見学会を開催しました。当イベントは、堺泉北港に親しみ、フェリーと船旅の魅力を知っていただく機会を提供することを目的としています。昨年度までは事前申込制のセミナーという形で開催していましたが、より多くの方に参加いただきたいとの思いから、令和7年度は事前申込不要の船内見学会という形で開催しました。

当日はお天気に恵まれ、360組1,031名という予想を上回るたくさんの方に参加いただき、展望ルームや大浴場、客室を見学いただきました。そのほか、ブリッジ(操舵室)の見学(先着約60名)、車両甲板(車両を積載するスペース)での貨物の積み込み風景の見学、スタンプラリーといったイベントを実施し、多くの方に楽しんでいただきました。

参加者に回答いただいたアンケートでは、船内見学会の満足度について、「大変良かった」「よかった」と回答された方が9割を超え、「(船内で)普段見られないところを見られてわくわくした」「客室や施設を直接見られて、旅行の参考になった」「見学会の頻度を増やしてほしい」といったお声をいただきました。また、アンケートに回答された参加者の9割から、「船内見学会」に参加して、今後旅行をする際にフェリーの利用を考える」と回答いただきました。



スタンプラリーの様子



車両甲板での見学の様子

地中に埋められていたマッコウクジラの掘り起こし

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉北管理担当



約2年前の令和6年1月、堺泉北港においてマッコウクジラ(全長約15メートル、体重約32トン)が目撃され、2月19日に死亡が確認されました。その後、2月22日から26日にかけてクジラを揚陸・運搬し、鯨類の専門家により眼球・生殖器・脳・内臓・歯などの標本が採取され、堺第7-3区に一時埋設しました。

大阪湾で死亡したクジラのうち、大阪市立自然史博物館が骨を引き取るのは、1990年以降で今回が8例目となります。約2年間この地にクジラを一時埋設し、微生物による分解が進み、このたび令和8年1月に骨格の掘り起こし作業を実施しました。

同博物館によると、「体長15メートルを超える個体の骨の採取は非常に珍しい。マッコウクジラは本来、深海に生息する生き物であり、大阪湾に姿を見せること自体が希少である。この骨格を今後の研究等に活かせるよう、大切に保存したい。」とのことでした。

作業当日は吉村知事をはじめ、多くの議員の方々が視察に訪れ、掘り起こし作業の様子は多数のメディアによって広く報道されました。今後、大阪市立自然史博物館で骨格標本が展示される予定となっていますので、その際はぜひ足を運んでみてください。

大阪湾で死亡したクジラのうち、大阪市立自然史博物館が骨を引き取るのは、1990年以降で今回が8例目となります。約2年間この地にクジラを一時埋設し、微生物による分解が進み、このたび令和8年1月に骨格の掘り起こし作業を実施しました。



泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興/事業企画・防災課 地域調整担当

大阪港湾局、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社で構成する「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」では、音楽イベント等を通じて、「泉大津フェニックス」のPR活動等に取り組んでいます。

【野外コンサートについて】

令和8年5月、泉大津フェニックスにおいて音楽イベント「OTODAMA'26～音泉魂～」が開催されました！

初日は前日の悪天候によりステージが損傷し、残念ながら中止となりましたが、2日目は無事に開催されました。

本委員会では、泉大津フェニックスのイメージアップに向け、廃棄物の最終処分場としての泉大津フェニックスに関するクイズやパネル展示を実施し、オリジナルタオルを配布しました。

また、会場周辺の動線整備や周辺の事業者様等への情報発信を行い、イベントの実施が事業活動の妨げとならないよう、安全面に配慮した環境づくり等に取り組みました。

当日は多数の来場者を迎え、イベントは大盛況のうちに終了しました。会場は終始活気にあふれ、にぎわいのある催しとなりました。PRブースでは来場者参加型のクイズ企画にも多くの方が参加され、泉大津フェニックスへの関心を深めていただけたのではないかと思います。

引き続き、泉大津フェニックスの知名度向上・にぎわい創出に向けた取組みを進めて参ります。

◆5月4日(月)、5日(火)

OTODAMA'26～音泉魂～(主催：(株)清水音泉、(株)サウンドクリエイター、読売テレビ放送株)



【アンケートのお願い】事業用地をお探しの事業者の皆さまへ

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

大阪港湾局(府営港湾)では、泉大津フェニックスの事業用地について、今後の企業誘致の参考とするため、事業者の皆さまへ向けたアンケートを実施中です。(9月11日(金)まで)

5分程度で回答できるアンケートとなっておりますので、以下赤枠内のQRコードから回答のご協力よろしくお願い致します。

なお、当該事業用地における対象となる事業要件は、以下のとおりです(一部抜粋)。

【対象事業要件】

廃棄物等の全部又は一部を原材料として利用し、修理・解体等を含む加工を経て製品化を行う「循環的な利用(再使用、再生利用及び熱回収)」に資する事業であること。

【整備施設要件】

屋内保管・屋内作業を行い、床はコンクリート舗装とすること。粉塵・悪臭・事故防止のための設備を設け、排水は適切に処理し、周辺環境や美観に配慮すること。

■泉大津フェニックス



■位置図



■QRコード



公募予定地情報



〇お問い合わせ 大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 TEL：0725-21-7203(企業誘致担当)

密輸防止のために情報提供をお願いします！

大阪税関 堺税関支署



物流業・倉庫業関係者の皆様へ
密輸防止のため情報提供をお願いします！



シロイ クロイ
密輸ダイヤル 0120-461-961

税関は不正薬物や拳銃、爆発物などのテロ関連物資等の密輸防止に取り組んでいます。

- 不自然な補修跡がある等、コンテナの異常を発見したとき。
- 同じ貨物なのに、異なるマークや何かの目印が付された貨物、重量が明らかに異なる貨物を発見したとき。
- 業種とあまり関係なさそうな貨物やいつもと違う貨物、商品の説明が曖昧な輸入者がいたとき。
- インボイス記載の品名と異なる貨物や、品名に合致しない梱包状態の貨物を発見したとき。
- 配送先がホテル、アパート、空き家、私書箱等であったとき。
- 通関を急ぐ、税関の検査を異常に気にかけるなど、輸入者からの問い合わせが頻繁にあるとき。
- その他、不審な噂を聞いたとき。



ご協力をお願いします！



大阪税関 堺税関支署



詳しくはWEBサイトで！

税関 密輸 検索

税関：密輸情報提供サイト

<https://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>



税関ホームページ

<https://www.customs.go.jp/>



砂浜から広がる高石市の新たなにぎわいづくり

高石市

高石市総合政策部まち未来戦略室産業共創課では、「砂浜活性化プロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、高石市に残る大阪最北端の天然砂浜を活用し、市内外の人々の交流を促進するとともに、海や環境への関心を高めることで、経済と環境の共生を目指す取り組みです。また、高石市も会員となっている瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動の一つであり、「リフレッシュ瀬戸内」の一環として実施しています。

高石市の高師浜は、古くは万葉集にも詠まれた白砂青松の美しい海岸線として知られ、明治時代には関西一円から多くの人々が訪れる海水浴場として親しまれていました。しかし、高度経済成長期の産業の発展により埋め立てが進み、現在では約100メートルほどの砂浜を残すのみとなっています。この歴史ある砂浜を次世代へ残していくとともに、「人が集まり、交流が生まれる場所」として新たな価値を創出したいという思いで、この事業に取り組んでいます。



砂浜清掃の様子

これまで、砂浜清掃や稚魚放流、アマモ移植祭、マルシェ、砂浜綱引き大会など、子どもから大人まで楽しめるさまざまな企画を実施してきました。令和6年度からスタートし、これまでに計6回イベントを開催していますが、回を重ねるごとに参加者も増え、地域の方々からの関心も高まっていると感じています。参加者からは、「高石市にこんな場所があるとは知らなかった」「海に触れる機会が少ないので新鮮だった」といった声をいただき、高石市の魅力発信につながっていることを実感しています。



塗り絵アート

このプロジェクトの大きな特徴は、行政だけで進めるのではなく、市民、地域ボランティア団体、民間事業者など、多くの方々と連携しながら取り組んでいる点です。担当課としては、イベントの企画運営、チラシ制作や市公式 SNS での情報発信を担当しており、それぞれが持つ強みを活かし、「自分たちのまちのイベント」として関わる仕組みづくりを大切にしています。公民連携の取り組みだからこそ、行政単独では実現できないアイデアや新しいつながりが生まれていると感じています。

高石市は今年度市制施行60周年を迎えることから、砂浜活性化プロジェクトでも記念事業として新たな企画に積極的に取り組む予定です。また、大阪府で開催される「全国豊かな海づくり大会」との連携も行いながら、稚魚放流など海に関する取り組みをさらに発展させていきたいと考えています。

一過性のイベントで終わらせるのではなく、砂浜を核とした継続的な交流とにぎわいを生み出し、砂浜そのものを高石市の価値ある地域資源として育てていくことが最終的な目標です。将来的には、この事業を通じて生まれた地域連携の仕組みを土台に、地域主体による自立的な運営体制の確立や、海業の活性化、民間事業者の参入などにもつなげていきたいと考えています。

これからも、「砂浜活性化プロジェクト」を通じて人と人、地域と地域をつなぎながら、高石市の魅力を発信し、地域の賑わいを創出できるよう挑戦を続けていきます。



令和7年 大阪府営港湾の港勢 (堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)速報値

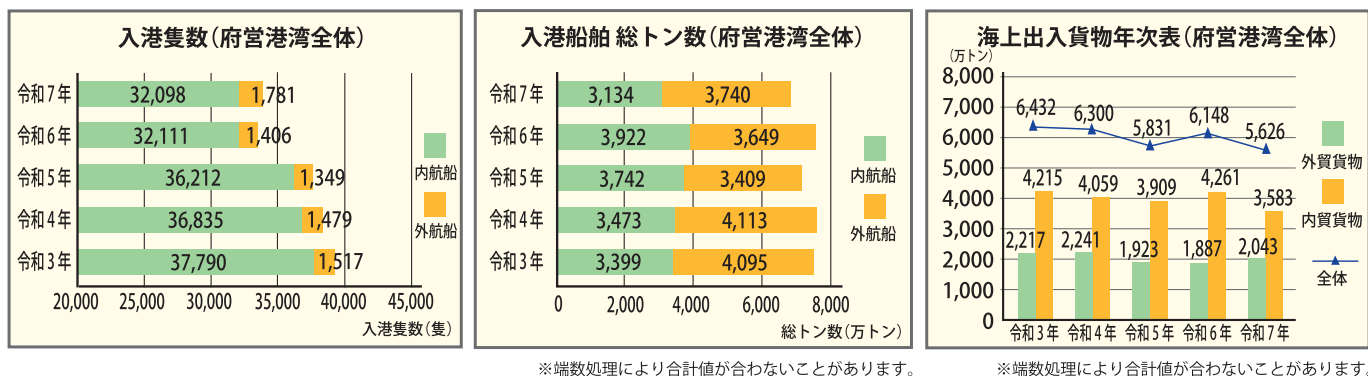
大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興

●府営港湾全体

大阪府が管理する8港湾のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(令和7年1月～令和7年12月)をとりまとめました。

入港船舶数は、外航船が1,781隻、内航船が32,098隻で、合計33,879隻となり、総トン数は約6,874万トンでした。

取扱貨物量は、外貿が約2,043万トン、内貿が約3,583万トンで、合計約5,625万トンです。



●堺泉北港

◎全 体

入港船舶数は外航船が1,746隻、内航船が21,371隻で、合計23,117隻となり、総トン数は約6,619万トンでした。

取扱貨物量は外貿が約2,029万トン、内貿が約3,349万トンで、合計約5,377万トンです。

主要品種は、原油、完成自動車(フェリー含む)、LNG(液化天然ガス)、その他の石油、重油となっています。

◎公 共

主要品種は、外貿の輸出では完成自動車、金属くず、鋼材で、輸入が鋼材、砂利・砂、木製品です。

内貿の移出では、完成自動車(フェリー含む)、その他輸送機械、非金属鉱物で、移入は、完成自動車(フェリー含む)、砂利・砂、鋼材です。

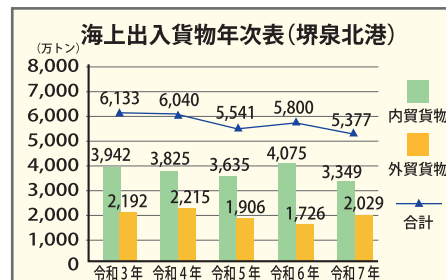
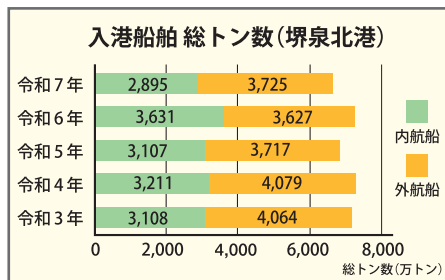
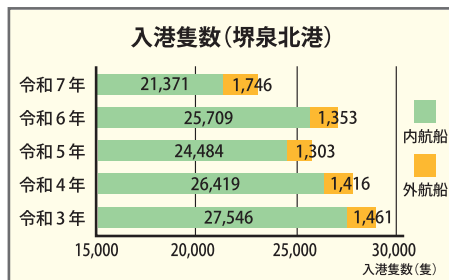
泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約6万人、上陸が約6万人で合計約11万人が利用しています。

■ 堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出			輸 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	完 成 自 動 車	1,073	114.1	原 油	7,742	108.9
2	化 学 薬 品	320	83.8	LNG(液化天然ガス)	6,420	110.6
3	鋼 材	212	81.9	揮 発 油	1,115	129.1
4	金 属 く ず	179	92.7	その他の石油	851	275.4
5	その他の石油	115	287.5	LPG(液化石油ガス)	840	119.5

■ 堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出			移 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	完 成 自 動 車	3,689	71.5	完 成 自 動 車	3,960	76.2
2	その他の石油	2,315	102.6	鋼 材	3,177	115.2
3	重 油	2,016	87.8	原 油	2,770	120.6
4	その他輸送機械	1,674	107.3	その他の石油	1,906	710.5
5	揮 発 油	1,367	79.1	重 油	1,388	89.0



※端数処理により合計値が合わないことがあります。

※端数処理により合計値が合わないことがあります。

【堺泉北港 助松ふ頭コンテナターミナル】

大阪府営港湾ではコンテナ定期航路として、東南アジア・上海航路及び青島航路(各週1便)が就航しています。

■ 堺泉北港 外航コンテナ船 入港船舶数、取扱貨物量、コンテナ取扱個数 年次表

年次	外 航		取扱貨物量(トン)		取扱貨物量(TEU)	
	隻 数	総トン数(千トン)	輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
R5	99	1,383	20,633	65,775	9,967	10,081
R6	83	1,193	18,803	78,407	11,204	12,010
R7	94	1,302	8,380	116,779	16,444	18,144
対前年比(%)	113.3	109.1	44.6	148.9	134.0	151.1

【堺泉北港 内航RORO船 取扱貨物量】

大阪府営港湾では内航RORO定期航路として、千葉・岡山・四国中央航路(上下各1便/日)及び宮崎・細島航路(3便/週)が就航しています。

■ 堺泉北港 内航RORO船 入港隻数、取扱貨物量 年次表

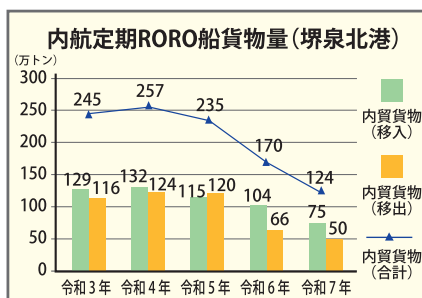
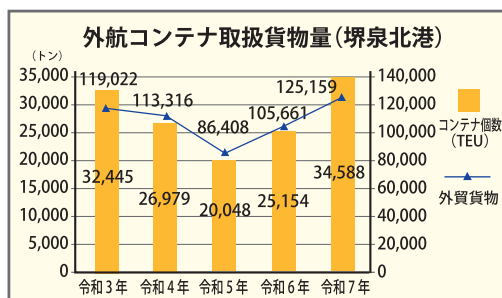
年次	隻 数	総トン数(千トン)	取扱貨物量(千トン)			
			移 出	対前年比(%)	移 入	対前年比(%)
R5	746	6,806	1,204	96.8	1,145	86.7
R6	807	7,339	659	54.7	1,039	90.7
R7	804	8,130	495	75.1	744	71.6

【堺泉北港 輸出完成自動車貨物量 推移】

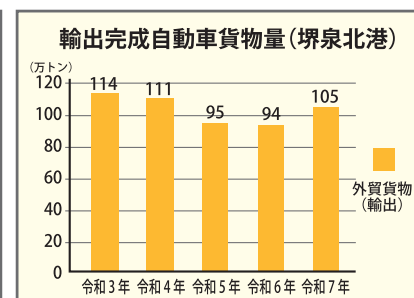
堺泉北港における完成自動車の輸出貨物量については約105万トンとなり、対前年比で111.7%と増加しました。

■ 堺泉北港 輸出完成自動車 貨物量

年次	輸出貨物量(千トン)	対前年比(%)
R5	946	85.7
R6	940	99.4
R7	1,050	111.7



※端数処理により合計値が合わないことがあります。



●阪南港

入港船舶数は、外航船が35隻、内航船が3,276隻で、合計3,311隻となり、総トン数は約94万トンでした。

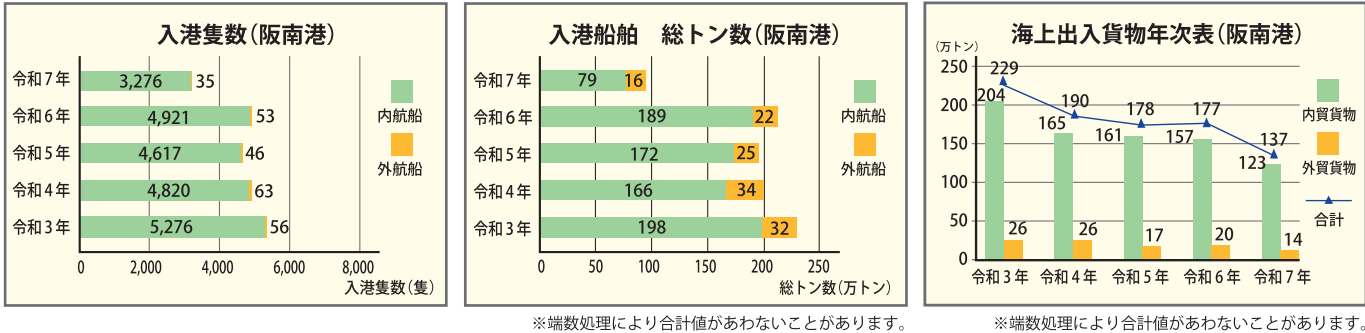
取扱貨物量は、外貿が約14万トン、内貿約123万トンで、合計約136万トンです。
主要品種は、外貿が木材チップ、鋼材、鉄鋼で、内貿が砂利・砂、その他の石油、非金属鉱物です。

■ 阪南港 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出			輸 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	鉄 鋼	9	—	木 材 チ ッ プ	82	70.1
2	鋼 材	6	14.3	鋼 材	28	82.4
3	金 属 く ず	5	—	非 金 属 鉱 物	3	75.0

■ 阪南港 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出			移 入		
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	対前年比 (%)
1	砂 利 ・ 砂	24	141.2	砂 利 ・ 砂	532	75.0
2	石 灰 石	16	123.1	その他の石油	203	73.0
3	金 属 く ず	16	160.0	非 金 属 鉱 物	141	86.0



●深日港

入港船舶数は260隻、すべて内航船です。総トン数は13,660トン、取扱貨物量は0トンでした。

●尾崎港・泉州港・泉佐野港

【尾崎港】

入港船舶数は1,150隻、すべて内航船です。総トン数は9,200トン、取扱貨物量は100トン(水産品)でした。

【泉州港】

入港船舶数は5,952隻、すべて内航船です。客船がほとんどで、5,667隻と全体の96%を占めています。
また、乗降人員は下記のとおりです。
総トン数は約157万トンです。取扱貨物量は147万トン(その他の石油)でした。

■ 泉州港 客船乗降人員(人)

航 路	令和6年			令和7年		
	乗 込	上 陸	合 計	乗 込	上 陸	合 計
関 空 ～ 神 戸	168,890	201,827	370,717	177,303	152,238	329,541

※端数処理により合計値があわないことがあります。

【泉佐野港】

入港船舶数は89隻、すべて内航船です。総トン数は20,691トン、取扱貨物0トンでした。

【補 足】 港湾統計については、国の統計システムへの移行に伴い、令和6年分調査より段階的に統計処理方法を変更しているため、各年の比較にあたっては留意ください。

●令和 7 年 港別入港船舶及び海上出入貨物状況

港名		入港船舶		取扱貨物量	取扱貨物量の内訳					
		隻数	総トン数		外 貿			内 貿		
					計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
		(隻)	(G/T)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)
堺泉北港	全 体	23,117	66,184,796	53,762,162	20,282,630	1,996,681	18,285,949	33,479,532	13,921,739	19,557,793
		(285)	(4,571,400)	(9,796,825)	0	0	0	(9,796,825)	(5,293,915)	(4,502,910)
	う ち 公 共	11,335	40,167,951	15,110,554	2,115,224	1,344,949	770,275	12,995,330	6,049,039	6,946,291
		(285)	(4,571,400)	(9,796,825)	0	0	0	(9,796,825)	(5,293,915)	(4,502,910)
阪南港	全 体	3,311	937,861	1,351,114	130,925	19,464	111,461	1,220,189	80,159	1,140,030
	う ち 公 共	3,221	627,791	1,037,649	130,925	19,464	111,461	906,724	80,146	826,578
深日港	全 体	260	13,660	0	0	0	0	0	0	0
	う ち 公 共	260	13,660	0	0	0	0	0	0	0
尾崎港	全 体	1,150	9,200	100	0	0	0	100	0	100
	う ち 公 共	1,150	9,200	100	0	0	0	100	0	100
泉州港	全 体	5,952	1,564,454	1,468,370	0	0	0	1,468,370	0	1,468,370
	う ち 公 共	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉佐野港	全 体	89	20,691	0	0	0	0	0	0	0
	う ち 公 共	89	20,691	0	0	0	0	0	0	0
合 計	全 体	33,879	68,730,662	56,581,746	20,413,555	2,016,145	18,397,410	36,168,191	14,001,898	22,166,293
		(285)	(4,571,400)	(9,796,825)	0	0	0	(9,796,825)	(5,293,915)	(4,502,910)
	う ち 公 共	16,055	40,839,293	16,148,303	2,246,149	1,364,413	881,736	13,902,154	6,129,185	7,772,969
		(285)	(4,571,400)	(9,796,825)	0	0	0	(9,796,825)	(5,293,915)	(4,502,910)

注：下段は内数公共。() 内は、フェリーを表す。

小さな巨人「タグボート」で大阪府営港湾を支え、還暦を迎えました！

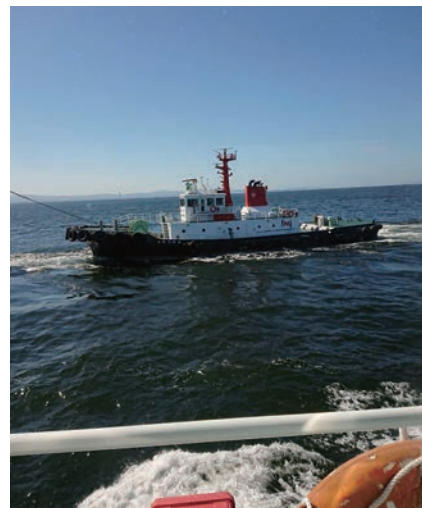
大阪府タグ事業協同組合

◆ はじめに(タグ事業って何？)

この度は、本誌への寄稿のお話を頂きありがとうございます。先ず「タグボート事業ってどんな仕事？」と多くの方からよく聞かれます。せっかくの機会ですので、多くの方々が「公共的役割が大きいタグ事業」をご理解いただけるよう、組合の事業内容や施設紹介をさせていただき、少しでも理解が深まりましたら幸いです。

では、タグ事業を一言で言うと、「船舶を安全で迅速に出入港・離着岸できるようにタグボートでサポートする事業ですよ。」と説明すると何となくイメージが湧いていただけたでしょうか？

タグボートは、港湾法でも「船舶の離着岸を補助するための船舶」として「港湾施設」に位置付けられており、各港(当組合は堺泉北港、阪南港等の大阪府営港湾エリアの入出港する船舶が対象)に入出港する船舶(VLCC等の超大型船から大型内航船等)の離着岸を誘導して、細かく自由に動くことができない船舶をロープで牽引、船首で押すなどして誘導・補助し、安全に離着岸をサポートしています。



タグ作業風景

タグボート船体は小さいながらも馬力(当組合では500馬力の小型船から4,000馬力を有する高馬力船まで船舶の大小に応じての配船が可能)が大きく、360度旋回するプロペラにより真横移動、微速での前後進、その場での旋回など優れた操縦性能を有しており、さながら「港の小さな巨人」といったところでしょうか。

さらに、タグボートには化学消防設備も搭載していることから、危険物積載船が多数往来する堺泉北港においては、海上交通の安全と危険物防災への対策として、タグボートにて、LNG船・LPG船などの大型危険物積載船への警戒業務も行っております。



危険物作業風景



放水作業風景

◆ 大阪府タグ事業組合の事業内容紹介

本組合は、昭和40年、前身組織となる大阪ひき船協会を設立し、同年より大阪府営港湾エリア内のタグ事業を取りまとめることとして業務を開始しました。

昭和46年4月からは社団法人大阪府タグ事業協会に改編して業務を引き継いだ後、2006年公益法人制度改革を受け、本組合を平成25年2月に設立して現在に至っています。この間、前身組織から60年以上にわたり、堺泉北港・阪南港等へ入出港する船舶をサポートするタグ事業を継続して行っております。

当組合の組合員は、関西港湾サービス(株)、内海曳船(株)、日東タグ(株)、三洋海事(株)、日本海事興業(株)、(株)武丸海運、昭陽汽船(株)、日本栄船(株)の8社で構成しており、各社が所有する常駐船が合計で22隻及び複数の予備船を配

して、同地域エリアの船舶の入出港をサポート等するタグ事業を行っています。

令和7年度のひき船作業回数につきましては、年間合計で4,500回を超えており、単純に計算しますと1日当たり平均12回以上、大型船舶等の入出港作業等をサポートしていることになります。

特に、大阪府営港湾エリアは、日本でも有数の西風の影響を強く受ける港であるため、天候の急変や荷役作業の都合等による時間変更や増船などの不測の事態にも迅速・的確に対応しております。

加えまして、堺泉北港に入出港する大型危険物積載船への警戒作業も171回行っており、本実績はひき船作業回数とも前年度よりも増加している状況です。

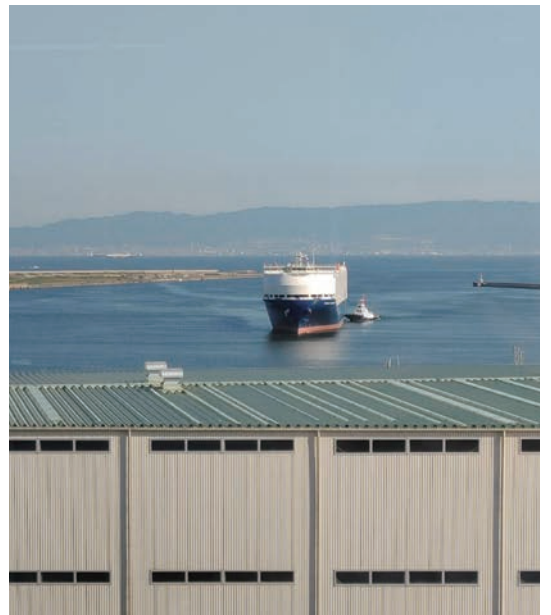


タグ作業風景

〈組合事務局〉

事務局(泉大津市なぎさ町きららセンタービル8階802号)では、事務局職員6名体制で船会社や船舶代理店等からのタグボートの要請に対して、前述の常駐船等のタグボートを365日、24時間体制で、一元的かつ効率的に配船業務を行うとともに、荷役作業の都合等による時間変更や天候の急変による増船にも日々対応しております。

職員は、「タグ作業は港湾機能の一部。大阪府営港湾が益々発展を遂げる一助になれるよう、タグ作業の確実で効率的な配船業務を担う使命の重要性を日々再認識。」しながら、安全第一を常に心がけ日々業務に奮闘しています。



事務局窓より見た作業風景

◆ 組合施設の紹介

〈諏訪森タグ基地棧橋〉

基地棧橋を組合で保有する例は全国的にも珍しく、本棧橋は前身組織のタグ事業協会時代であった平成4年3月からタグ基地として水域占用許可を受けた上で運用していましたが、後述の小松タグ基地に移転した現在は、常時使用の基地としてではなく、主には波風が高くなると想定されるときや台風等到来に備えて避難場所等として運用しています。さらに、現在は、防災役割として、堺市との間で災害時等に消防艇が係留できる場所を同棧橋に確保する協定書を締結して運用しております。



台風へ備え退避するタグボート風景

て運用しています。さらに、現在は、防災役割として、堺市との間で災害時等に消防艇が係留できる場所を同棧橋に確保する協定書を締結して運用しております。

(施設所在)

堺市西区諏訪森町西3丁303番地2の一部

(本棧橋3基、渡り棧橋)

※同施設付近には組合所有の駐車場(452㎡)用地も併設

〈小松タグ基地〉

前述の諏訪森栈橋は設置後30年が経過し、今後の維持管理費用の増大や数億円規模の撤去費用が年々高騰する懸念もあったことから、大阪府港湾局のご協力を頂き、公共岸壁(小松埠頭第1号)を整備(電気設備、水道設



小松基地風景

備等は組合で設置済)いただいた上で、水域の占用許可を受け、令和4年6月より、諏訪森タグ基地栈橋からタグボート基地を移転し、現在に至っています。

(供用場所)

泉大津市新港町3番地

大阪府営港湾小松第1号岸壁

(タグボート最大12隻係留が可能)

◆ 未来に向けて～「みなと」が安全・安心に迎えられるように～

本組合(前身組織含)設立から今年度で61年目を迎えることができました。

以下の新たな課題にも適切に対応しながら、未来に向けて、今後とも「安全」「安心」をモットーに、大阪府営港湾のみなとを継続的に支えてまいります。

(1) 火災や海難等の海上災害対策支援事業への対応

近年増え続ける自然災害、南海トラフの到来やグローバル化したテロ対策に対し、タグ乗務員の安全確保が最優先との前提はありますが、関係機関の求めに応じ、継続的に地元市町の港湾振興会、堺泉北港・阪南港テロ対策総合訓練や堺・泉北船舶津波減災対策検討会の取り組みに参画いたします。



放水作業風景

(2) 安定したサービスの提供への対応

スラスタ装備船の普及などタグ事業を取り巻く環境は年々大きく変化しており、船会社や船舶代理店等のニーズに合わせたサービスを提供できるよう、堺泉北船舶安全協議会等から頂いた意見については組合員といち早く情報共有します。

(3) 安定した組合運営への対応

ここ最近の燃料費の高騰、建造や労務費の上昇は当組合にも大きな影響を及ぼしており、組合員側の努力のみでは吸収できる範囲を超える場合については、その都度それら上昇分に対してタグ料金への価格転嫁を行ってまいりますので、サービスの提供維持の観点からご理解をお願いする次第です。

また、組合施設で現在、常時使用していない諏訪森タグ基地栈橋につきまして、毎年相当な管理費用、撤去の場合は膨大な撤去費用が見込まれることから、改めて同施設の有効活用方策の検討の必要性を感じております。つきましては、皆様からの有効な活用方策のアイデアのご教示もお待ちしている次第です。(※なお、同栈橋は前年度業者が行った鋼材腐食度調査では十分な強度を保っており、引き続き使用する場合でも大規模補修は不要と診断されています。)

ENEOS株式会社堺製油所はかげさまで操業60周年を迎えました

ENEOS株式会社堺製油所

2025年7月、ENEOS(株)堺製油所は、操業開始から60周年の節目を迎えました。これもひとえに、皆様のご理解、ご協力の賜物と御礼申し上げます。



当所は、堺・泉北臨海工業地帯に位置しており、ガソリン、軽油、灯油、ジェット燃料、LPGといった石油製品に加えて、パラキシレンやプロピレンなどの石油化学製品の生産を行う石化一体型製油所であり、エネルギー効率はアジアのトップクラスを誇ります。

当所の歴史を振り返れば、戦後の財閥解体の折、三井物産(株)燃料部石油課の職員が中心となって1947年に設立したゼネラル物産(株)までさかのぼります。社名については、戦前から重油の販売契約を結んでいた「ゼネラル・ペトロリウム社」

にちなみ、また、三井物産のイメージを生かすため「物産」の名を冠したとの記載が社史に残っています。

戦後の石油産業の飛躍的な発展の中で、ゼネラル石油(株)設立(1958年)、川崎製油所操業開始(1960年)により、石油元売会社として精製・販売の一貫体制が整った後は、西日本に製品を供給するべく関西地区の製油所建設が急務となりました。

1962年に関西需要地の中心である泉北新規造成地の売買契約が大阪府との間でまとまりました。この土地は、固い地層により地盤沈下がほとんどないこと、排水性が良いこと、砂塵が舞うこともないことから、製油所建設に適した土地でありました。1963年11月から製油所建設が始まり、1965年7月1日に完成、日量6万バーレルの操業を開始しました。隣接する大阪ガスをはじめとする施設とパイプラインで結ぶことにより近代的なコンビナートが形成されました。白砂青松の府営浜寺公園を臨む浜寺・羽衣保養住宅地域に近いことから、建設に際しては当時最新の公害防止技術が導入され、大気や排水の汚染防止に特段の配慮が図られました。

その後、東燃(株)との合併(2000年)、米国資本の撤退(2012年)、JXホールディングス(当時)との経営統合(2017年)を経て、現在はENEOS(株)の11製油所・製造所の一つになりました。日量は15万バーレルまで増加し、建設から60年経った今もなお、その設計思想をうけつぎ、安全、環境に配慮した操業を続けております。

■堺製油所のあゆみ

1965 (昭和40)年 7月	ゼネラル石油株式会社 堺製油所として操業開始
1969 (昭和44)年 10月	常圧蒸留能力の拡充(12万バーレル/日)
1970 (昭和45)年 11月	重油間接脱硫装置完成
1974 (昭和49)年 1月	月刊地域紙フェニックス創刊
1974 (昭和49)年 3月	BTX製造装置完成
1982 (昭和57)年 7月	コンピューター・コントロール(PMX)完成
1984 (昭和59)年 3月	ボトムローディング方式による ローリー出荷ターミナル完成
1984 (昭和59)年 12月	流動接触分解装置(FCC)完成
1986 (昭和61)年 7月	常圧蒸留能力の拡充(15.6万バーレル/日)
1986 (昭和61)年 9月	ブテン転換装置完成
1989 (平成元)年 8月	コ・ジェネ(熱電併給)設備完成
1990 (平成2)年 10月	パラキシレン製造装置完成
1995 (平成7)年 7月	軽油深度脱硫装置完成
1996 (平成8)年 3月	ISO9001取得
1997 (平成9)年 10月	第2コ・ジェネ設備完成
2000 (平成12)年 6月	FCC能力の拡充
2000 (平成12)年 7月	東燃ゼネラル石油株式会社 堺工場に名称変更
2007 (平成19)年 4月	軽質/重質ナフサ脱硫装置完成
2008 (平成20)年 11月	大容量泡放射システム資機材配備
2015 (平成27)年 12月	ISO14001取得
2017 (平成29)年 4月	JXTGグループ誕生
2018 (平成30)年 2月	経済産業省の高圧ガス特定認定事業者に認定
2020 (令和2)年 6月	ENEOS株式会社 堺製油所に名称変更
10月	常圧蒸留装置能力の変更(14.1万バーレル/日)
2025 (令和7)年 2月	経済産業省の高圧ガス特定認定高度保安実施者に認定

堺製油所の特徴

ENEOS (株)堺製油所の特徴は、省エネルギー製油所であること、国内最大規模の陸上出荷ターミナル、高圧ガス A 認定取得事業所の 3 点であります。

当所は、建設当時としては画期的な完全熱集約型の製油所として誕生しました。すべての装置がパイプラインで直接つながれ、原料を冷やすことなく次の工程に送り、完成品となったときに初めて製品を冷やしてタンクに貯蔵する構造とすることで、燃料の大幅な節約が実現しています。堺製油所ではエネルギー効率の目標を定め、日々無駄のない効率的な運転・省エネルギーに努めております。

また、堺製油所はエネルギーの大消費地である大阪・神戸・京都といった大都市圏に近いことから、製品の約 8 割を陸上向けに出荷しています。国内最大規模の出荷設備は 51 のレーンを擁し一日千台以上のタンクトラックの出荷を賄っております。

2025 年、堺製油所は経済産業省の高圧ガス新認定制度である認定高度保安実施者のうち、特に高度な自主保安を実施している特定認定高度保安実施者（通称：A 認定）に認定されました。A 認定は、特に高度な自主保安を行っている事業者者に与えられるもので、その取得にあたっては、設備の信頼性向上、高度な人材育成、サイバーセキュリティ等関連リスクの対応など、高圧ガスを取り扱う事業所の保安活動の内容が厳しく審査されます。本認定制度の取得にあたり、安全、安定操業に対する強い決意をもう一度全所員、全協力会社と確認する機会とし、まい進する所存であります。

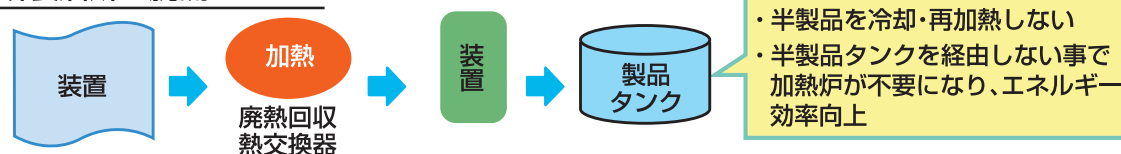


堺製油所の強み 完全熱集約型製油所

一般的な脱硫プロセス



堺製油所の脱硫プロセス



地域貢献

ENEOS グループでは、使命として次の文言を掲げています。

「地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。」

この理念を実現し、社会的責任を果たしていくために実践すべき基準として「ENEOSグループ行動基準」が定められており、私たちの事業活動における判断の拠り所としています。その中の一つに「市民社会の発展への貢献」の項目があり、社会貢献活動を通じて、市民社会の発展に貢献することを掲げています。

堺製油所では様々な活動を通じて地域の皆様と深い関係を築いてまいりました。その一部を紹介いたします。

■ 地域広報誌フェニックス

当所は、地域とのコミュニケーションの一環として、広報誌フェニックスを刊行し、新聞折り込みにより近隣地域に毎月1回6万5千部を配布しています。2024年度は1974年の創刊以来50周年を迎えました。これを記念し、「Hinotori Fes 心からの、ありがとうを届ける！」と題して、読者の皆様約250名を所にご招待しお祝いしました。



60周年特集



第一回テニス教室を伝える月刊誌フェニックス
1974年12月10日発行の第12号

■ 堺シティオペラへの協賛・地元小学校への劇団出張公演

定期公演に堺市民をご招待する活動を20年以上継続しています。また、文化活動への取り組みとして、地元小学校での劇団出張公演を毎年開催しております。



■ フェニックス・テニス教室



当所の従業員向け福利厚生施設であるテニスコートを使った催しとして、フェニックス・テニス教室があります。これは、ゼネラル石油(株) (現 ENEOS 株) の取締役であった故宮城淳氏(1931年生～2021年没、1955年全米選手権男子ダブルス優勝、元デビス杯日本代表選手、元国際公認審判員) ほか、社内のテニス部員を技術指導者に迎え1974年11月に始まりました。当初は大人向けのテニス教室でしたが、今はテニス経験のない小学生を対象に当所のテニス班が指導する催し「フェニックス・キッズテニス教室」として継続しております。

■ ENEOS バasketボールクリニック／ ENEOS 野球教室

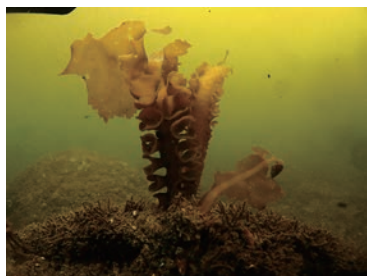
当社の女子バスケットボール部である ENEOS サンフラワーズ、ENEOS 野球部の現役選手による、地元中学生を対象とした技術指導を行っております。

■ ENEOS 友好の森・太子町との包括連携協定締結

森林保全を目的とし、間伐作業を実施しております。当所は、このつながりから関係の深まった大阪府太子町と2024年に包括連携協定を締結しました。

■ 護岸の藻場創出

堺製油所は2022年度から護岸部の藻場創出活動に取り組んでおります。藻場の創出により、水質改善、魚介類の産卵・育成場の増加、藻類の光合成を通じたブルーカーボンの蓄積等、様々な効果が期待されます。また、



2024年度から「大阪府ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA、大阪府と兵庫県が設立)」に参加し、近隣団体と連携して本活動に取り組んでおります。

61年目の堺製油所は、安全・安定操業について基本・初心に立ち返り、引き続き地域の皆様と共に歩んでまいります。ご支援賜りたく、どうぞよろしくお願い致します。



1980年10月、旧ゼネラル石油(株)は堺市ゆかりの豪商、呂床助左衛門 (るそん すけざえもん) のブロンズ像を堺市に寄贈しました。呂床は室町末期の堺で活躍した貿易商人であり、ルソン (フィリピン) に渡り壺 (ルソン壺) を輸入して多くの財を築きました。このブロンズ像は、商人のまち堺と呂床を題材とした NHK 大河ドラマ「黄金の日」が1978年に放送されたことを記念して寄贈されたものです。長らく堺市市民会館内にありましたが、2015年以降堺港に移設され、市民に親しまれています。

「和と誠実」の企業精神による125年の歩み

中谷運輸株式会社

1. ご挨拶

「大阪から世界へ、世界から大阪へ」 関西におけるグローバル物流の拠点として、大阪港の重要性はますます高まっております。

1902(明治35)年、この地で創業した当社は、中谷グループの発祥会社として業容・業域を広げていくとともに、大阪港発展の一端を担って一筋に歩んで参りました。これからも社是「和と誠実」の企業精神を変わることなき心の軸としながら、常に時代の変化に即応した安全・高品質で効率的なサービスの創造に取り組み、グローバル物流を支える企業として、地域社会の発展と安寧に貢献して参る所存です。

【中谷の理念】

「和と誠実」の心で社会の安寧と発展に貢献し、社員の幸福を実現する。

【私たちの信条】

- 一、良心をもって「和と誠実」を実践します。
- 一、すべてに優先する社会的使命として、安全と安心を実現します。
- 一、お客様に最良のサービスと最高の品質を提供します。
- 一、ひとりひとりが主人公となって、価値ある仕事を創造します。
- 一、仕事を通して自分を磨き、会社とともに成長します。
- 一、社会の一員であることを自覚し、市民としての責任を全うします。
- 一、力を合わせて健全な業績を実現し、共に明るい未来を築きます。

2. 会社歴史

中谷グループ創業者・中谷庄之助は、代々庄屋を営んできた生家の没落で裸一貫となり、19世紀末の大阪を沸かせていた大企業・大阪港築港工事の現場に飛び込みました。若き現場監督として持ち前の人間的魅力で頭角を現した庄之助は、生まれ変わった大阪港で近代港湾確立の一翼を担う志を立て、1902(明治35)年、海陸運輸業・中谷組を創業します。

過酷な条件下で取り組んだ日露戦争の物資荷役で声価を高めた中谷組は、仕事に対するひたむきな情熱と誠実を旨とする企業姿勢で各方面のご愛顧を得るようになります。なかでも三菱財閥系各社との取引はその後の発展の原動力となり、工事業や海運業にも進出。営業地域も、大阪から、兵庫・岡山・広島へと拡大していきました。創業以来大きな成長を遂げた中谷組でしたが、太平洋戦争の戦禍と戦後の不況により未曾有の危機に直面します。二代社長・中谷巖は、事業再編を断行。中谷組は地域や事業ごとに分社化され、中谷グループとして再出発しました。グループ各社は、経営管理の近代化と技術力の向上、新規顧客の開拓に力を尽くし、戦後の危機を乗り越えて、日本経済の復興とともに新たな時代への扉を開いたのです。

戦後、激動する日本経済の中でその時代に合った形に変革を繰り返し、1962年には日本鋼管鉄鋼株式会社(現 JFE 物流株式会社)の倉庫・沿岸荷役を請け負い、1967年安治川営業所を開設し三菱倉庫株式会社の倉庫・沿岸荷役を請け負い、1969年には株式会社辰巳商会、山九運輸機工株式会社(現山九株式会社)、澁澤倉庫株式会社の船内荷役を請け負いました。そして1969年に現在の商号である中谷運輸株式会社となりました。まさに、大阪港の発展と元請け各社の成長とともに当社も成長発展を遂げてきました。

1971年には泉北港に位置する泉大津において倉庫業を開始しました。世界の海運形態の主流が在来船からコンテナ船へ移行する時にはコンテナヤードでの荷役作業に対応し、日本の最新機器やプラント関係の輸出が増加し、梱包ニーズが高まった時には梱包業を開始しました。1980年に一般港湾運送事業免許を取得

し、元請けとしての事業展開を始め、一定の成果が現れた時には通関業の免許を取得し、2020年2月には大阪税関より認定通関業者(AEO)認定を頂きました。また、拡大する事業の中で保有荷役車輛の増加に伴い、メンテナンス・整備部門を立ち上げ、現在では大阪港でのメンテナンス作業を多数ご下命頂いております。

当社は間もなく創業125年を迎えますが、私たちの理念と信条をもとに、お客様へのサービスと社会への貢献を追求しています。





3. 事業紹介

大阪から世界へ、世界から大阪へ。関西におけるグローバル物流の拠点である大阪港が私たちのフィールドです。港湾運送事業を中核として輸出梱包・機器設備メンテナンス・各種工事等も手掛け、ミナトのあらゆるエリアで安全・高品質で効率的なサービスを提供しています。125年の歴史で培ってきた現場力を生かし、社会インフラである物流を支える企業として、地域社会の発展と安寧に貢献します。

港湾荷役サービス：あらゆる貨物に対応する港湾荷役のプロフェッショナル

ミナトはグローバル物流の拠点。コンテナ船・在来船・RORO 船等の船内荷役から沿岸・倉庫・構内での荷役作業まで、高い技術力と最新の荷役機器により、安全で高品質な荷役サービスを提供しています。

一貫輸送・倉庫：海から陸へ、陸から海へ、効率的で品質の高い一貫輸送を実現します

港湾物流のエキスパートとして、荷役から保管・輸送まで効率的で品質の高い一貫輸送サービスを提供しています。

梱包：超大型貨物から航空貨物まであらゆる輸出梱包ニーズにお応えします

天井クレーンや大型荷役機器を備えた梱包工場で、精密機械・大型プラントから航空貨物まで、木箱、スチール、バリア、シュリンク、強化段ボール等、多様なモードの輸出梱包ニーズにお応えしています。技術者を派遣した出張梱包にも対応いたします。

機器メンテナンス・リース：ミナトを支えるあらゆるハードをトータルにサポート

多種多様な車両・荷役機器から大型港湾設備まで、ミナトを支えるあらゆるハードをトータルにサポートしています。荷役機器リースやコンテナ修理等のサービスも提供しています。高い技術力は海外荷役機器メーカーからも評価され、外国製荷役機器のメンテナンスも請け負っています。

各種工事：ミナトで培った技術をベースに新たな価値を創造します

ミナトで培った技術で港湾関連施設・電気設備・土木・営繕等、各種工事を手がけています。

4. 拠点事業紹介

① 泉北営業所

泉北営業所は、1971(昭和46)年2月、泉北港小松埠頭に上屋(1号倉庫)を建設し、主に輸出入鋼材を取り扱う倉庫として倉庫業を開始しました。また1980(昭和55)年11月には泉北港において一般港湾運送事業免許を取得し、船内・沿岸一貫作業を開始しました。さらに1998(平成10)年2月には泉北6区助松埠頭に敷地面積10,531平方メートル、倉庫面積6,930平方メートル、総重量20トン吊り天井クレーンを備える梱包工場を併設する泉北2号倉庫が完成し、輸出入鋼材



及び輸出入プラント貨物の取り扱い荷役効率や保管能力が向上し、コンテナバンニング本数も飛躍的に増加しました。その一方で助松 4 号 / 2 号埠頭の広大な野積みヤードと 200 トンクローラクレーンをはじめとする機械力と技術力が評価され、スパイラル鋼管や鋼管杭等の長尺貨物やプラント重量物、再生資源スクラップ貨物の取り扱いも増えていきました。現在でもこれらの貨物は当所のベースカーゴとなっています。

さらに近年では、ベトナム経済の著しい発展に伴い、ベトナム向け鋼材の取り扱いが増加し、コンテナバンニング及び在来船荷役がさらに増加傾向にあります。また 2025 (令和 6) 年の大阪万博開催時には鋼管杭や H 形鋼等の長尺鋼材貨物の取り扱いの増加にも対応いたしました。



当所が発足してから約 55 年の月日が経ち、時代が経過するとともに働く人、荷役機器、荷役道具、作業場所も昔とは変わりましたが、お客様の大切な貨物を安全かつ正確に取り扱い、現地までお届けすることが我々所員の使命であることは今も昔も変わりません。これからも社是「和と誠実」の下で先輩の皆様方より培われた技術や知識を若手所員に情熱を持って引き継ぎ、安全力、組織力、技術力を向上し、営業所所員が一つとなって今まで以上にお客様の信頼を勝ち取り、明るく元気な職場を目指し、当初を盛り上げていきたいと思ひます。

②JFE 堺営業所

会社歴史と重複しますがまずは営業所としての歴史から紹介したいと思います。2003 (平成 15) 年 4 月に川崎製鉄株式会社と日本鋼管株式会社が経営統合、JFE スチール株式会社が誕生しました。翌 2004 (平成 16) 年 4 月には川鉄物流株式会社と NKK 物流株式会社が JFE 物流株式会社 (以下 JFE 物流) として統合したことを受け、当社の営業所名も「川鉄営業所」から「JFE 南港営業所」、「鋼管営業所」から「JFE 堺営業所」へと変更されました。2005 (平成 17) 年 1 月、JFE 物流は南港・堺での取り扱い品種の再編成を行い、しばらくの間は大阪港で 2 か所の基地を運営されていました。その後、JFE 物流が運営する関西 4 基地 (西宮・甲南・南港・堺) の内、南港を閉鎖、堺へ集約することが 2012 (平成 24) 年に決定しました。同年 11 月から小中径管の移管、2013 (平成 25) 年 10 月からコイルの移管、2014 (平成 26) 年 4 月には移管・集約が終了しました。集約により大阪港の基地が堺の一か所になり、JFE 物流の名称は「大阪物流センター」となりましたが、当所は「JFE 堺営業所」の名称にて在に至っています。



JFE 物流の大阪物流センターの敷地面積合計は約 4 万坪 (139,899 m²)。JFE スチール殿の全国各拠点から大阪へ内航船と RORO 船 (ニューウェーブ) で海上輸送される様々な鋼材の水切り作業と倉庫入庫作業やトラック、船・台船への積み込み作業を行っています。

JFE 物流は、2010 (平成 22) 年 1 月から効率化のため、コイルオペレーションガイダンスシステムを導入しました。コイルには 1 コイルごとに固有の番号があり、その番号からコイルの規格・サイズ・重量・お客様情報等が分かり、それを倉庫の中に番地を設定することにより、どこにどのコイルが



置いているかを反映させ、原則クレーンオペのみで入出庫作業を行うシステムとなります。

現在所属のメンバーの中には、これまでの営業所の変遷経験者もいれば、それまでの経緯も知らない若手もいます。営業所が統合したことで、8人程度だった「JFE 堺営業所」は30人以上になりました。年月が経ち、環境が変わり、そこに働く人達も世代交代しますが、お客様から預かった品物を大切に取り扱い、無事にお客様に届けられるように願う気持ちはいつまでも変わりません。安全意識と技術力を培った長年の経験とチーム力をこれからも維持し、さらに向上していきたいと思っています。

③コンテナ営業所



コンテナ営業所は、1974年4月1日に南港事業部コンテナ営業所として設立以来、現在まで約50年の歴史と伝統があります。設立当初は主にコンテナ船の船内・沿岸荷役作業と隣接する倉庫の作業を行っていました。1991年3月にC8ターミナルへ移転してから、倉庫作業がなくなり、コンテナ船の船内・沿岸荷役作業を中心に作業を行うようになりました。

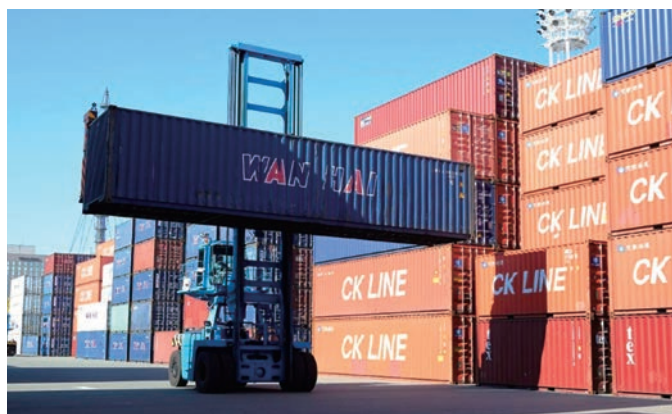
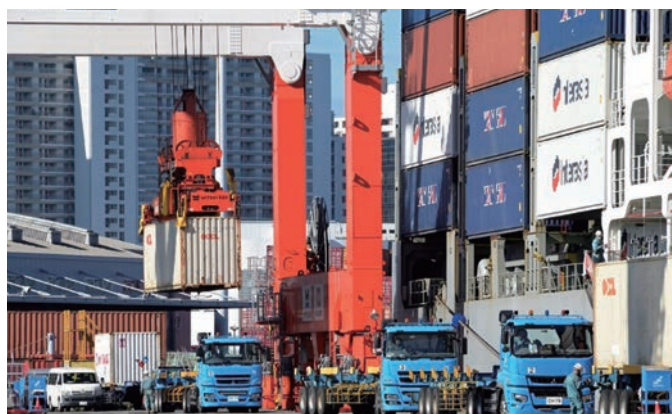
現在は、C8、C9、KF1でのコンテナ船の船内・沿岸荷役とヤードコントロールやゲート業務、本船プランナー業務等、コンテナ作業における全般的な業務を行っています。

C9ターミナルでは、2015年から2017年の間、ターミナル機能の向上を目指し、ターミナル改良工事が実施されました。改良点は、①コンテナターミナルの荷役方式をストラドルキャリア方式からトランステナー方式へ変更、②ツイン荷役対応（20フィートコンテナを同時に2本荷役可能）型の高性能ガントリークレーンへのリプレイスという大規模な内容でした。荷役方式変更ともない、新ターミナルの安全基準の策定、ツイン荷役対応のトランステナー、トラクタヘッド、シャーシの仕様変更や作業標準書の策定等、様々な項目を見直し、荷役作業の効率化と安全作業を両立させました。

2019年には、C9ターミナルに3基目のガントリークレーンが導入され、常時3ギャング(*)荷役への対応が可能となりました。一方、近年の人材確保が課題のなか、3ギャング荷役対応による作業人員確保は、社内の他部署からの応援体制を拡充させ対応しています。大阪港唯一のツイン荷役との相乗効果により作業効率率は大幅に向上し、コンテナの取扱い処理本数も国内トップクラスとなっており、元請け様、船社様からも喜ばれております。

(*)ギャングとは

本船荷役を行う際の作業班（チーム）のことを意味する。例えばコンテナ船の1ギャング（船内・沿岸）＝約12～15名。よって3ギャングの場合は40人近くの人員が必要となる。



終わりに

「大阪から世界へ、世界から大阪へ」の使命のもとに、私たちはこれからも社会の安寧と発展に貢献できるよう日々業務に取り組んでまいります。

日本栄船の環境への取組経緯、そしてこれから

日本栄船株式会社

1967年11月に創業した当社は、商船三井のグループ会社として、関西を含む瀬戸内全域、東海地区をサービスエリアとし、安全第一で日々タグ作業に従事しております。言うまでもなくタグは港湾施設の一部として、円滑な物流には不可欠なファクターであり、更に昨今はCNP形成推進計画により港湾作業船舶として温室ガス低減が求められているところ、当社の環境への取組経緯とこれからにつき紹介いたします。

グリーン経営認証取得

2006年9月の取得にあたり社内説明上、温暖化対策に伴う環境保全活動の意義を理解する必要があり、その一環で感染症について権威ある学識経験者を訪問し、その分野での地球温暖化との関連性につき示唆と関係論文を頂くことができました。曰く、このまま温暖化が進めばウイルスは蚊等を媒体として、活動がより持続し世界各地へ拡散感染しやすくなり、更にパンデミックのスパンは益々短くなり、残念ながら近い将来大規模型が発生する、と。頂いたアドバイスも反映し、当時の海陸役職員全員に認証を取得する意義浸透のために各拠点で説明会を開催いたしました。参加者多数から質問と共感を得る忘れがたいイベントとなり、結果、状況に応じたエンジンの経済回転数での運航、環境対応先進タグ志向の芽生え、業務書類の撤廃や簡素化推進、ゴミの分別と定量把握の定着、等々環境取組のスタートとなりました。

また当時、登録を運営するエコモ財団と何度か打ち合わせを行う中で、認証制度は海運においては基本内航貨物船を対象とした温暖化対策促進が目的であり、CO2削減数値の比較はトンマイルでの燃料消費量比較によるとの説明でしたが、港湾作業船舶において作業時間単位での消費量比較を容認頂いたことは、環境取組への裾野の広がりに繋がり、更にこの比較基準はLNG燃料タグ“いしん”の内航省エネルギー格付制度認証取得に繋がることとなりました。

LNG 燃料タグ“いしん” 竣工、配備 / 運航 / LNG バンカリング開始

2019年2月、“いしん”竣工、堺泉北港への配備、定常LNGバンカリングは、大阪港湾局及び関係官庁によるバンカリング安全体制及び港湾の環境保全推進をベースとした指導と認可により、西日本初でLNG燃料サプライチェーンが確立され、無事故無災害で8年目を迎えております。



堺泉北港でLNGバンカリング中の“いしん”

“いしん” 大阪港定常LNGバンカリングから各地でのデモンストレーションへ

2019年より、CNPの重要ポイントでもある新燃料のバンカリング体制完備につき、全国主要関係者からの要望でTRUCK TO SHIPにてLNGバンカリングデモンストレーションを“いしん”を派遣して行うこととなりました。

実績としては、神戸港、名古屋港、苫小牧港で行われ、新型コロナウイルスの影響で数ヶ所のプランが中止とはなりましたが、プロジェクト推進にあたり大阪港湾局及び協力会社のご理解と多大な支援を得たことに、この場をお借りしあらためてお礼申し上げます。

“いしん”カーボンニュートラルLNGの定常使用

2021年9月より、堺泉北港にて採掘・液化・輸送・製造・燃焼の工程を含むライフサイクル全般で発生する温室効果ガスをクレジットで相殺したLNG供給の受入れを開始。

カーボンニュートラル陸電の使用促進

2023年ー2026年、当社サービスエリア3ヵ所のタグ基地にて、CNP計画に即したカーボンニュートラル陸電への切り替えを実施促進。

バイオ燃料の定常使用

2025年7月より、内航海運のCO2削減目標設定に付随し、バイオ燃料のサプライチェーンを構築し、一部タグへ定常的に供給の受入れを開始。



バイオ燃料積み込み

海洋保全活動の広がり

各拠点で、定期・不定期で海洋保全活動を行っています。詳しくは当社HPをご覧ください。

<https://nihon-eisen.co.jp/>



各地での海洋保全活動



サステナビリティ推進室設立

2024年7月、環境対応が人間の社会活動維持の域から、地球や生態系との共存、持続可能への取組が

より企業価値として認識される潮流となり、社内外へその意義と活動を見える化するには、特化部門の設立が不可欠との経営判断がなされ「サステナビリティ推進室」が設立されました。

各部門から横断的にメンバーを擁立し、環境保全活動、次世代船舶、次期GX産業、藻場形成ネットワーク、産学官連携、地域貢献、環境認証やクレジット、DE&Iをメインとした調査及び取組対象とし、その活動成果でサステナブル意識が社内で根付き始めています。



サステナビリティ推進室 活動イメージマップ

能動的海洋ゴミ回収実証

2024年10月、産学連携で船舶を使用した海洋プラスチックの回収実証を行いました。この実証においては、関係官庁／漁業関係者等への認可、通知、実証時の安全対策、及び運用マニュアル作成を通じ、共同で作業を行う地元漁協、大学、NPOとの連携深度化と活動意義の討論と共に、新たな環境取組への知見を得ることが出来き、次の展開へ繋がっております。



能動的海洋プラスチック回収実証

これからも脱炭素推進港湾に寄り添う

CNP、水素アンモニア等の価格差支援、拠点整備支援、GX 戦略地域選定の政策により、次期産業拠点の産声が聞こえつつあるところ、堺泉北コンビナートにおいては、全国他地域に比してもポテンシャルがあるとの一般評であり、今後更に選ばれる港湾として関係者による具体的施策が推進されるものと思っており、微力ではありますが当社の環境活動が堺泉北港発展の一助になればと考えております。



産学連携での能動的海洋プラスチック回収実証メンバーと



LNG 燃料フェリー”さんふらわあ びりか”の造船所進水作業に従事する”いしん”

他港視察(福井県敦賀港・京都府舞鶴港)を実施します！

(一社)大阪府港湾協会

(一社)大阪府港湾協会では、令和8年11月19日(木)～11月20日(金)の日程で、敦賀港(福井県)・舞鶴港(京都府)を視察します。当日は、港湾視察のほか、福井県港湾空港課及び京都府港湾局などの概要説明や意見交換、東洋紡株式会社敦賀事業所、グンゼ株式会社の視察を予定しています。

【令和8年度 他港視察概要】

- ◆ 日 程 令和8年11月19日(木)～11月20日(金)
- ◆ 視 察 場 所 1日目：敦賀港、東洋紡株式会社敦賀事業所
2日目：舞鶴港、グンゼ記念館・博物苑
- ◆ 行 程 ① 敦賀港(福井県敦賀市)
② 東洋紡株式会社敦賀事業所(福井県敦賀市)
③ 舞鶴港(京都府舞鶴市)
④ グンゼ株式会社(京都府綾部市)



新規入会会員様

新規入会 | 株式会社 古川重機興業



株式会社 クレーン作業全般
古川重機興業



本 社: 〒596-0825
営業所: 〒596-0014
TEL 072-427-8990
E-mail furukawajuuki1@citrus.ocn.ne.jp

大阪府岸和田市土生町12-13-19
大阪府岸和田市港緑町4-10
FAX 072-427-8510





第45回 **全国豊かな海づくり大会** なにわ 魚庭の海おおさか大会

令和8年 11月14日(土)・15日(日)

場 所

式典行事

南海浪切ホール
(岸和田市)

海上歓迎
放流行事

府営りんくう公園
(泉佐野市)

関連行事

岸和田旧港地区緑地(岸和田市)
りんくうアイスパーク(泉佐野市)



主催：豊かな海づくり大会推進委員会／第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会 後援：農林水産省／環境省
問い合わせ先：第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会（事務局：大阪府環境農林水産部 水産課内） 〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 TEL 06-6210-9612

大会公式 HP ©2014 大阪府もずやん

全国豊かな海づくり大会って何をするの？

全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて漁業の振興と発展を図ることを目的とし、昭和56年から毎年全国各地で開催されている国民的行事の一つです。

令和8年に初めて大阪府で本大会を開催し、「豊かな海『大阪湾』」の魅力を全国に発信します。

■ 式典行事

11月15日(日) 午前

南海浪切ホール（岸和田市）

功績団体表彰や最優秀作文の発表、稚魚のお手渡しなどを行い、大会を通じて豊かな海を次世代につなぐことを誓う場とします。



写真は令和7年三重大会の様子

■ 海上歓迎・放流行事

11月15日(日) 午後

りんくう公園シーサイドウォーク（泉佐野市）

大阪府の代表的な漁法紹介（漁船団による海上パレード）などで招待者を歓迎し、豊かな海を次世代につないでいく思いを込めて稚魚放流を行います。



写真は一年前プレイベント(左)及び令和7年三重大会(右)の様子

■ 関連行事

11月14日(土)・15日(日)

岸和田旧港地区緑地（通称：アクアパーク）（岸和田市）・りんくうアイスパーク（泉佐野市）

（１）企画展示・体験

展示や体験を通じて、豊かな海を未来へつなぐことの大切さを発信します。

（２）ステージイベント

著名人によるトークショーなどを予定！

（３）物産販売

大阪産(もん)など、多彩な食材を楽しめるブースをご用意！



体験ブースの様子



ステージイベントの様子



魚庭の海づくり丼の販売

イベントや体験学習会、スタンプラリーなどを開催し、大会を盛り上げていきます！是非お越しください♪最新情報は公式HPやSNSをチェック！

協賛者のみなさま（令和8年3月末現在）

池田泉州銀行

MIDORI SEIKA

信頼で地域とつながる
大阪シティ信用金庫

かねひさ株式会社
KANEHISA

KANSAI AIRPORTS

この街のホームドクター
大阪信用金庫

JR 西日本旅客鉄道株式会社

JAグループ大阪

OUG group

大阪府土地改良事業団体連合会
水産ネット大阪

堺泉北埠頭株式会社
SAKAI SEMBOKU WHARF Co., Ltd

くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合

大阪商工信用金庫

大阪釣具協同組合

ハイガマスパワー
デジタルファクトリー

IZUMISANO
KANKU

本広告は、(一社)大阪府港湾協会様のご協賛により掲載しております。

美しく安全な港を

Keep the Port Clean and Safe

— 会員の皆様とともに —
堺泉北港の海面清掃や
啓発活動を通じて
美しく安全な港づくりに
貢献します。



使い捨ての習慣を見直そう
ごみのポイすてはやめよう
河川・海岸の清掃活動に参加しよう



一般社団法人 大阪府清港会

Osaka Pref.Seikou-kai

会長 松本 繁明

〒592-8331

堺市西区築港新町4丁3番地

TEL 072-244-7571

FAX 072-247-1314

✉ seikokai@aroma.ocn.ne.jp

日本海事興業(株)

内海曳船(株)

関西港湾サービス(株)

(株)武丸海運



【 8つの力で、入港から出港まで安全にサポートします 】

大阪府タグ事業協同組合

理事長 小幡 斉

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 堺泉北港ポートサービスセンタービル8階

TEL 0725-31-0521 FAX 0725-31-0578 ✉ info-0521@osaka-tug.org



三洋海事(株)

昭陽汽船(株)

日本栄船(株)

日東タグ(株)

「まちづくりの総合コーディネーター財団」をめざして、関係団体と連携しながら、府域が抱える都市的課題の解決に貢献し、良質で魅力あるまちづくりの推進を図ります

まちづくり初期支援事業 まちづくり普及啓発事業 密集市街地まちづくり活動支援事業
公共空間まちづくり活用支援事業 土地区画整理等支援事業 市町村道路施設点検等支援事業
市町村職員等技術研修事業 環境共生型まちづくり事業 大阪北摂霊園事業
駐車場運営事業 不動産賃貸管理事業 近隣センターまちづくり事業



公益財団法人大阪府都市整備推進センター

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目8番12号 オーク堺筋本町ビル10階
TEL:06-6262-7711 HP:<https://toshiseibi.org/>



金融+で、未来をプラスに。RESONA GROUP

海外ネットワークを拡大中。
海外進出支援体制を強化しています。



アジアを中心とした海外ビジネスに関する
ご相談はお気軽に弊社までお問い合わせくだ
さい。



関西みらい銀行

公益社団法人 近畿海事広報協会



国民の祝日「海の日」は、制定当初は7月20日、2003年からは7月の第3月曜日に「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」として1996年から実施されています。

近畿海事広報協会では、海の日に関連行事として「中学生海の絵画コンクール・中学生海の作文コンクール・海の写真コンクール」などの広報活動を実施するとともに、若い世代のみなさんや教育現場の方々に海事産業の重要性を理解してもらうための乗船体験会などを実施する「船との出会い事業」や「海事知識普及事業」などを行っています。

各関係機関ならびに関係諸団体様が実施する「海の日」関連行事予定を近畿海事広報協会webで公開しております。



公益社団法人近畿海事広報協会

会長 星野 公彦 副会長 太田垣 充

副会長 増子 祐司 専務理事 角谷敬二郎

大阪市港区築港3丁目7-15 港振興ビル 204

TEL:06-6573-6387

FAX:06-4394-8090

近畿海事広報協会 web <https://kinkikaiji.sakura.ne.jp/>

港湾地域における円滑な物流活動を支援することを通じて社会に貢献していきます



堺泉北埠頭株式会社

SAKAI SEMBOKU WHARF Co., Ltd



埠頭運営事業

青果事業

上屋賃貸事業

中古車ストックヤード賃貸事業

シャーシプール賃貸事業

緑地運営事業

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル9F TEL.0725(20)2270 FAX.0725(20)2281
堺青果センター 〒590-0987 堺市堺区築港南町12番地 TEL.072(222)0391 FAX.072(232)1241

ボウリング カラオケ 団体予約承ります!!



ボウリング 1F 10レーン
2F 18レーン



地下1階 カラオケ 19部屋 大部屋有

泉大津フタバボウル

〒595-0072 泉大津市松之浜町1-2-53

ボウリング 0725-22-8128 カラオケ 0725-33-8920

お得なクーポン
配信中→



南海 松ノ浜駅より徒歩2分

無料駐車場67台完備

送迎バス有(要予約)



なぎさ公園にてBBQ施設営業中
※営業日についてはHPをご確認ください。

泉大津港湾振興会

会 長 南出 賢一 (泉大津市長)
副会長 森本 護 (大一機工(株)専務取締役)
副会長 中林 政一 (藤原運輸(株)大阪支店 統括営業部長)
副会長 中田 憲正 (堺泉北埠頭(株)相談役)

〒595-8686 泉大津市東雲町9-12

泉大津市市長公室 地域経済課内

TEL. 0725 (51) 7651 FAX. 0725 (32) 6000



ENEOS

ENEOS株式会社 堺製油所

〒592-8550 大阪府堺市西区築港浜寺町1番地

大阪船主会

-海に生き、海を支える-

会 長 辻井 廣喜(株商船三井 専務執行役員)
副 会 長 甲斐 克宙(甲斐機船(株) 代表取締役社長)
副会長(事務局) 増子 祐司(株商船三井 関西支店長)

〒530-0005 大阪市北区中之島 3 丁目 6 番 32 号 ダイビル本館 4 階

貝塚港湾労働者福祉センターにて

みんなの
食 堂 **トップ**

営業中!

お気軽にお立ち寄りください!

貝塚港湾振興会

会 長 牛 尾 治 朗 (貝 塚 市 長)
副会長 宮 崎 和 昭 (貝塚商工会議所会頭)
副会長 兼 光 昌 幸 (奥本製粉(株)代表取締役社長)

〒597-8585 貝塚市島中 1 丁目 17 番 1 号
貝塚市都市整備部都市計画課内
TEL.072 (433) 7246 (直 通)
FAX.072 (433) 7511 (代 表)



岸和田港振興協会

Kishiwada Port Promotion Association Since 1952

会 長 佐野 英利(岸和田市長)
副会長 太田 享之(岸和田商工会議所会頭)
岸 勝志(岸和田市副市長)

〒596-8510 岸和田市岸城町7-1(岸和田市魅力創造部産業政策課内)
TEL:072(423)9618 FAX:072(423)6925



全ての経営活動を「お客様視点」へ転換させ、
誰からも愛される「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を目指します!



コーナン商事株式会社：〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号 TEL 06-6397-1621(代)
ホームページ <https://www.hc-kohnan.com/>



堺港湾振興会

Sakai Port Promotion Association

会 長 堀畑 浩重(阪南倉庫(株)代表取締役社長)
副会長 井内 義之(関西港湾サービス(株)代表取締役社長)
副会長 上西 浩(堺市産業振興局長)

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

その化学品、山九にお任せ下さい。



関西ケミカルセンター
高石市高砂2-1

- 危険物(第1類～第5類)
- 毒物及び劇物
- 温度管理品
- 輸出入貨物(阪神港至近)

お問い合わせは
●関西ケミカルセンター
072-268-3909
●営業企画グループ
072-243-3912

心に「Thank you」を、世界の産業に山九を。

SANKYU

山九株式会社 泉北支店

堺市西区浜寺石津町東2-3-30



汐見埠頭協議会

会 長 角野 錦吾(朝日海運株式会社)

副会長 甲斐 信之(間口運輸株式会社)

副会長 渡辺 貴也(山九株式会社)

新洋海運は ASEANの物流網をトータルサポート

～物流プロフェッショナルパートナーとして社会の潜在課題を
現場力×想像力で解決し持続可能な未来をつくります～

【事業内容】

・一般港湾運送事業・貨物運送取扱事業・倉庫業・海運代理店業・通関業・梱包請負業・港湾荷役・損害保険代理業



新洋海運株式会社
SHINYO KAIUN CORPORATION

代表取締役社長執行役員 稲葉徹志

本 社 〒590-0954 堺市堺区大町東1丁1番10号
TEL(072)238-1161 FAX(072)223-4050

支 店：南港・泉北 営 業 所：博多・東京
事 業 所：桑名・宮崎・大浜・塩浜 海外現地法人：ベトナム・タイ



泉北港港運協議会

会 長 衣畑 拓也（中谷運輸株式会社）

〒595-0075 泉大津市臨海町2丁目1 泉北5区港湾労働者福祉会館内
TEL 0725(21)4377 FAX 0725(21)4377

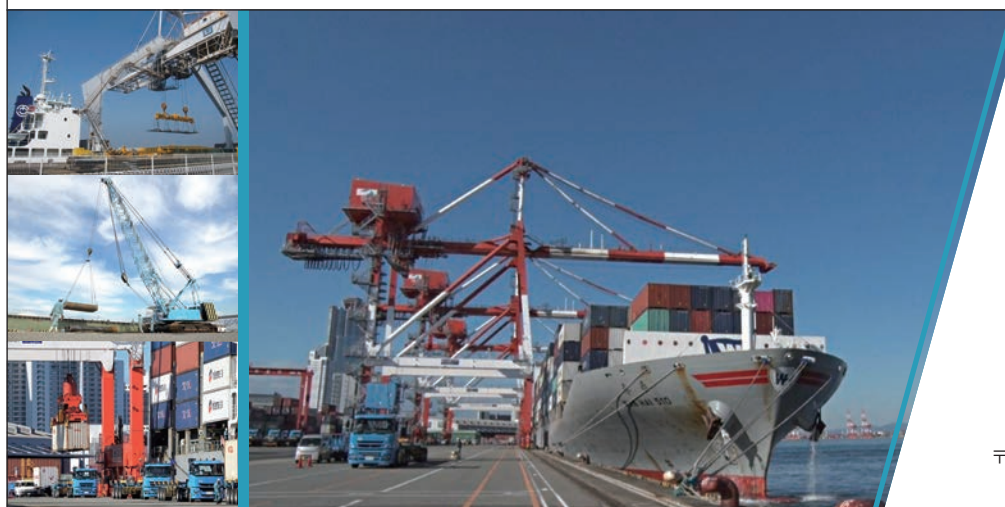
高石港湾振興会

会 長 畑 中 政 昭（高石市長）

副会長 谷 本 順 一（高石商工会議所会頭）

副会長 滝 口 靖 夫（株式会社上組大阪支店三井化学営業部 部長）

〒592-8585 高石市加茂4丁目1番1号 高石市総合政策部 まち未来戦略室 産業共創課内
TEL 072(265)1001 FAX 072(263)8143



nakatani

中谷運輸株式会社

代表取締役社長 中谷 庄司朗

〒552-0022 大阪市港区海岸通1丁目5番22号
Tel. 06-6572-5021 Fax. 06-6574-1023



北九州 新門司 ↔ 神戸 六甲アイランド ↔ 大阪 泉大津



阪九フェリー

旅客 乗用車
ご予約・お問い合わせ
0570-01-8988

トラック
新門司…093-481-6681
神戸…078-857-1223
泉大津…0725-22-6361

公式HP



チケットレスで、
スムーズに。





間口運輸株式会社

創業 明治34年

代表取締役会長 間口 敦生

取締役社長執行役員 間口 陽介

港湾運送事業 港湾荷役事業 倉庫業 通関業

〒552-0021 本社 大阪市港区築港2丁目8番34号

株式会社ONECROSS

高品位尿素水

AdBlue®

日本製

AdBlue製造・販売メーカー

- ☆1kℓタンク 無償貸与！
- ☆ガンホースセット無償提供(5m迄)
- ☆給水時にタンク内の汚れチェックします！
- ☆定期給水等も承ります！
- ☆大阪以外の都府県も極力対応致します。

面談希望の方は06-6753-5918へ
お気軽にご連絡ください。

65円!!

/1ℓ (税別)
※給水の場合

泉大津埠頭株式会社

代表取締役社長 南出 賢一

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6番1号
TEL.0725(33)6851 FAX.0725(33)4425

海・陸 一貫くらしを支えます！



大阪運輸株式会社

本社 〒559-0013 大阪市住之江区御崎6-3-1

TEL.(06)6682-8808(代表) FAX.(06)6682-8818

URL. <http://www.osakaunyu.jp/> 大阪運輸 検索

大阪府水難救済会

MARINE RESCUE
OSAKA



会長 織田 浩二

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

Kanadevia
Technology for people and planet



カナデビア株式会社 堺工場 〒592-8331 堺市西区築港新町 1-5-1

THE BEST FROM THE WORLD

いいものを世界から

服飾事業・不動産賃貸業・営業倉庫業

株式会社 **カワサキ**

<https://www.kawasaki-corp.co.jp> 【上場コード 3045】

本社 〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

TEL.072-439-8011 FAX.072-439-8013

大阪支店・東京支店

南海本線 泉大津駅前 ホテル **レイクアルスター** アルザ泉大津



一品一品に旬の息吹にあふれた素材をふんだんに取り入れ、職人が腕をふるう本格会席料理でおもてなし致します。

●ご宿泊・ご宴会予約、承ります●

TEL.0725-20-1121 FAX.0725-23-1959



曳船業・海上防災業・船舶代理店業・繋離船業

関西港湾サービス株式会社

代表取締役社長 **井内 義之**

本社／〒590-0974 堺市堺区大浜北町3丁4番2号

TEL 072(238)3965 FAX 072(238)3968

- 軽水炉(PWR / BWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
- 軽水炉(PWR / BWR)の炉心管理サービス
- 新型炉HTRその他研究炉用燃料
- 原子燃料サイクル関連技術開発
- 原子燃料関連検査装置等の設計、製作



ペレット君



原子燃料工業株式会社

本社 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央四丁目33番5号

TEL 045-500-6310

熊取事務所 大阪府泉南郡熊取町朝代西1丁目950番地

TEL 072-452-3901

(泉大津工場) 泉大津市河原町7番5号

TEL 0725-22-3363

大阪営業部 大阪市西区土佐堀一丁目3番7号

TEL 06-6443-0628

コスモ石油株式会社 堺製油所

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町三丁目16番地

TEL : 072-245-8551 FAX : 072-245-1249

URL : <http://www.cosmo-oil.co.jp>

大阪府公安委員会 第62000413号 (一社) 大阪府警備業協会会員



安心・安全・信頼 真心のサービスを提供

第一警備保障株式会社

代表取締役社長 **阪本 敦史**

〒595-0055 泉大津市なぎさ町2番10号

TEL 0725-33-6787

FAX 0725-33-7649

海陸複合一貫輸送により物流戦略をサポートします。
RORO船定期航路利用によるモーダルシフトの促進



大王海運株式会社

代表取締役社長 **岩井 正実**

ISO9001:2008認証取得 ISO14001:2004認証取得

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目2番5号 飯田橋メインビル

TEL.03-3261-6815 FAX.03-3261-7310

港湾運送業 倉庫業 建設業 通関業



Daito Co., Ltd.

LOGICAL & DYNAMIC

株式会社 大都

代表取締役社長 **間口 豪**

〒552-0022 大阪市港区海岸通2丁目1-11

TEL.06-6574-0125 <https://www.daito.biz/>



日本栄船株式会社

代表取締役社長 **脇 修一**

本社 神戸市中央区海岸通5番地商船三井ビル

TEL: 078-331-3625

大阪営業所 大阪市北区中之島3丁目6番32号ダイビル本館

TEL: 06-6105-5057



通関・海陸一貫輸送業
 **八興運輸株式会社**
 〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町4番地
 TEL 0725 90 5385 FAX 0725 90 5485



 **CAPSOHN**
阪南倉庫株式会社

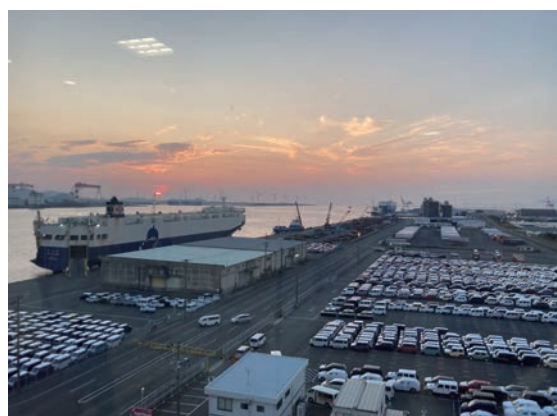
本社：〒590-0959 大阪府堺市堺区大町西3-2-3
 TEL：072-232-0267 / FAX：072-232-0054
 URL：<https://capsohn.co.jp/>

「大阪府のみなと」へ ご意見・ご感想及び広告の募集



(一社)大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
 併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。頂いた広告は会員情報欄に掲載します。
 ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

(一社)大阪府港湾協会
 住所：〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
 TEL.0725-20-0690 FAX.0725-21-7259 E-mail:kyoukai@fship.or.jp



先進港視察



(一社) 大阪府港湾協会

～ 新規会員募集のご案内 ～

(一社) 大阪府港湾協会は府営港湾各港の振興対策の推進、府域の産業経済の発展と府民生活の向上、並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与することを目的とする一般社団法人です。

大阪府営港湾の振興の一環として、会員企業・団体の皆さまに各種セミナーのご案内（参加無料）や会報誌『大阪府のみなと』の広告掲載など、日頃の業務にお役立ていただけるサービスを実施しております。

【会費】

1口 1万円～（年間）



【お問合せ】

(一社) 大阪府港湾協会 事務局
〒595-0055
大阪府泉大津市なぎさ町6番1号
堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
Tel 0725-20-0690 Fax 0725-21-7259
E-mail kyoukai@fship.or.jp

【公式ホームページ】

アドレス <https://www.fship.or.jp/>
(大阪府営港湾 WEB サイト Friend & Ship)

会員向けサービス

- 総会記念講演会
- 各種セミナー
大阪みなとセミナー 等
- 先進港視察 開催
★視察先一例
(令和7年度)
・清水港新興津コンテナターミナル
・はごろもフーズ(株)新清水プラント
・(株)河合楽器製作所竜洋工場
・静岡県浜松内陸コンテナ基地
(令和6年度)
・第六管区海上保安本部
備讃瀬戸海上交通センター
・香川県高松港 ・(株)新米島サノヤス造船
・岡山県水島港
(令和5年度)
・千葉県木更津港 ・神奈川県横須賀港
(令和4年度)
・愛知県三河港
・フォルクスワーゲングループ
ジャパン(株)本社視察
- 会報誌『大阪府のみなと』
府営港湾に関わる様々なニュースやイベントを掲載しております。
(無料配布・年3回発刊)

会 員 名 簿

(株)アイ・エー・エー	関西電力(株) 堺LNGセンター	セントラル・タンクターミナル(株) 大阪事業所	阪南港運(株)
朝日海運(株)	関西トランスウェイ(株)	泉南市	阪南市
(株)アテックス	(株)関西みらい銀行	(一社) 全日検 大阪支部	阪南倉庫(株)
イースタン・カーライナー(株) 泉北営業所	関西木材(株)	泉北港港運協議会	阪和流通センター大阪(株)
泉大津港湾振興会	岸和田港湾荷役(株)	大一機工(株)	広道商店
泉大津市	岸和田市	第一警備保障(株)	藤原運輸(株)
泉大津商工会議所	岸和田商工会議所	(株)大運	(株)不動テトラ 大阪支店
泉大津埠頭(株)	岸和田港振興協会	大王海運(株)	(株)古川重機興業
泉大津マリン(株)	(特非)紀泉地域21総合整備協議会	Daigasガスアンドパワーソリューション(株) 泉北製造所	平和オート(株)
泉佐野市	共立梱包(株)	(株)大都	(株)ベスト・プロパティ
泉佐野商工会議所	共和海建(株)	(株)大日警 大阪営業所	豊国石油(株)
一心港運(株)	(公社)近畿海事広報協会	大利運輸(株)	POSCO Japan PC(株)
岩谷液化ガスターミナル(株)	近畿港運(株)	高石ケミカル(株)	(株)北海鉄工所
岩出建設(株)	(株)クリエイション	高石港湾振興会	北港運輸(株) 南大阪支店 泉南センター
(株)エヌティーシー	(株)栗本鐵工所 堺工場	高石市	(株)眞壁マテリアル
E N E O S(株) 堺製油所	K H ネオケム(株) 堺物流センター	高石商工会議所	間口運輸(株)
大阪運輸(株)	ケイヒン海運(株)	(株)武丸海運	(株)松菱
大阪運輸倉庫(株)	原子燃料工業(株) 熊取事業所	田尻町	丸一鋼管(株) 堺工場
大阪機船(株) 南海支店	(株)合通ロジ	忠岡町	丸全昭和運輸(株) 関西支店
(一財)大阪港湾福利厚生協会	鴻池運輸(株)	(株)辰巳商会	丸全昭和運輸(株) 堺泉北支店
大阪製鐵(株) 岸和田工場	コーナン商事(株)	田中土建(株) 大阪南合材センター	丸紅エネックス(株) 堺ターミナル
大阪船主会	コスモ石油(株) 堺製油所	チヨダウーテ(株) 貝塚工場	岬町
大阪府	(株)サウスポイント	(株)土田組	三井化学(株) 大阪工場
大阪府漁業協同組合連合会	堺港湾振興会	(株)Dear Laura	三井金属パーライト(株)
(一社)大阪府清港会	堺市	D I C(株) 堺工場	港通船運輸(株)
大阪府タグ事業協同組合	堺商工会議所	東亜建設工業(株) 大阪支店	南大阪埠頭(株)
(公財)大阪府都市整備推進センター	堺泉北港湾砂利石材協同組合	東洋建設(株) 大阪本店	(株)やまと
(一財)大阪府マリーナ協会	堺泉北船舶安全協議会	(株)東洋信号通信社	(株)ヤマモト鉄工所
大阪府みなと友好倶楽部	堺泉北埠頭(株)	内海曳船(株) 堺出張所	郵船港運(株)
大阪府ヨットセーリング連盟	(株)堺ポートサービス	中谷運輸(株)	U B E(株) 堺工場
(一社)大阪木材コンビナート協会	栄運輸工業(株)	(株)西村運輸倉庫	(株)横河ブリッジ
大阪湾広域臨海環境整備センター	阪口倉庫(株)	(株)日新 関西倉庫部	(株)吉田組 大阪支店
大豊運輸倉庫(株)	阪本薬品工業(株) 泉北工場	日鉄物流(株) 関西支店	ライオン(株) 大阪工場
(株)オーナミ 関西事業部	櫻井工業(株) 製材所	日東タグ(株) 阪神本部	(株)ONE CROSS
奥田数(株)	(株)さくらコーポレーション 泉大津支店	日東物流(株) 大阪支店	
奥本製粉(株)	山九(株) 泉北支店	日本製鉄(株) 関西製鉄所	
貝塚港湾振興会	産業振興(株) 西日本営業部 関西営業所	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 阪神地区(堺)	
貝塚市	三興倉庫(株)	日本通運(株) 大阪国際輸送支店	
貝塚商工会議所	三洋海事(株)	日本栄船(株)	
梶野産業(株)	サンワールド(株)	日本海事興業(株) 神戸・大阪営業所	
金澤運輸(株)	汐見埠頭協議会	日本酢ビ・ポパール(株)	
カナデピア(株) 堺工場	新関西国際空港(株)	日本振興事業協同組合	
要薬品(株)	新関西製鐵(株)	日本トランスシティ(株) 大阪支店	
兼杉興業(株)	伸共運輸(株)	船用商事(株)	
(株)上組 大阪支店	新洋海運(株)	畑野工業(株)	
(株)カワサキ	(株)スバルロジスティクス 関西納整センター	八興運輸(株)	
関空泉大津ワシントンホテル	(株)住友倉庫	(株)PALTAC	
関西港湾サービス(株)	センコー(株) 南大阪支店	パレ・フタバ(株)	
関西電力(株) 火力事業本部	泉州トラック事業協同組合	阪九フェリー(株) 泉大津支店	

令和8年7月1日現在

会員 181 団体



岸和田阪南2区干潟見学会の様子(令和8年5月17日)

一般社団法人

大阪府港湾協会

FRIEND & SHIP
大阪府営港湾振興Webサイト



〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 TEL.0725-20-0690

印刷発行／令和8年7月

※乱丁はお取り替え致します。